

令和2年度 第3回「第6地区教科用図書採択教育委員会協議会」記録

期 日：令和2年7月21日（火）10：00～

場 所：東神楽町役場 2階 大会議室

出席者：上川管内市町村教育長（旭川市を除く）

事務局：東神楽町教育委員会

1 議題

○ 各種目報告と採択

令和3年度使用中学校用教科用図書

- ・国語 ・書写 ・社会（地理、歴史、公民、地図） ・数学
- ・理科 ・音楽（一般・器楽） ・美術 ・保健体育 ・技術・家庭
- ・外国語 ・道徳 ・特別支援

2 記録

事務局 ただいまから、第3回第6地区教科用図書採択教育委員会協議会を開催する。
開催に当たり、協議会会長より御挨拶を申し上げます。

会 長 上川管内の子どもたちのために、よりよい教科用図書を選定できるよう、多くの意見をいただきたい。

事務局 この後の議事は、会長に進行願う。

会 長 はじめに、事務局から経過報告願う。

事務局 これまでの経過を報告させていただく。

6月上旬に書面会議で実施した「第2回第6地区教科用図書採択教育委員会協議会」において、第6地区教科用図書調査委員を確認し、同月29日に、令和2年度第1回第6地区教科用図書調査委員会を、新型コロナウイルス感染症の対応として、3つのグループに分けて東神楽町役場で開催し、調査研究の要領、観点、報告書の作成等について確認した。

調査委員には、その日から自宅において調査研究をしていただいた。7月6日、7日、8日、9日の各日においては、令和2年度第2回第6地区教科用図書調査委員会を東神楽町役場及び東神楽町総合福祉会館で開催し、小委員会ごとに「報告書」を作成していただいた。

なお、当初の計画では、7月8日までの3日間を第2回調査委員会としていたが、調査員が集まるのが困難な小委員会があったことから、9日にも調査委員会を実施した。

本日の調査研究報告書については、7月16日に皆さんのお手元に送付させていただいた。

また、各市町村教育委員会において実施していただいた、令和2年度における教科書展示会では、54人の閲覧者と18枚のアンケート用紙の提出があり調査の際の参考としたところである。本日は、種目ごとに教科用図書を採択していただくので、よろしく願います。

事務局からは以上である。

会 長 それでは、これから、令和3年度から使用する中学校用教科用図書の採択について、事務局に進行願う。

事務局 令和3年度から使用する中学校教科用図書の採択に入る。種目ごとに教科用図書の採択を行うので、よろしく願います。

議事を進めるに当たって、参考にする資料を確認する。1つは、北海道教育委員会から送付された「令和3年度から使用する中学校用教科用図書採択参考資料」、2つは、「令和3年度から使用する中学校用図書に関する調査研究報告書」、3つは、各者の「教科用図書の趣旨書」及び教科用図書の見本である。既に、各委員におかれましては、それらについて目を通していただいているものと考えている。

では、はじめに国語について、調査研究報告書に基づき調査結果を小委員長から報告願う。

小委員長 国語小委員長長の千葉である。国語科の調査研究結果について報告申し上げる。

- はじめに、「東京書籍」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の「てびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物や情景を描いた表現に注意して読んだり、文章の書き方の工夫について交流したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2学年の「てびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、構成や表現を工夫して新聞記事を書き換えたり、場面を比較して読み表現の効果について交流したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第3学年の「てびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、人物像や人物の考えを読み取ったり、筆者の主張について自分の意見とその根拠を書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・第1学年の「方言と共通語 全国のグルメ祭りに行こう」の単元において、方言と共通語への興味・関心を高めるために、「違和感がある」の意味を表す「いずい」という北海道・東北地域の方言
 - ・第2学年の「本で世界を広げよう 日本文化」の単元において、様々なジャンルやテーマの本を紹介するために、自然を敬うアイヌの人々に伝わる神々の物語を収録した『カムイ・ユーカラ』
 - ・第3学年の「将来の目標や計画を立てよう」の単元において、様々な生き方や働き方について知るために、旭川市の旭山動物園園長である坂東元を紹介したホームページ
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・メディア・リテラシーおよび情報活用能力を育成する単元を全学年に掲載し、「ニュースの見方を考えよう」(第1学年)では、ニュース番組の制作者が、意図的に視聴者の印象を操作する手法が、具体的な事例で示されていること

- 次に、「三省堂」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の「学びの道しるべ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、人物像や人物の心情の変化を捉えたり、要旨を捉え筆者の考えに対して自分の考えをもったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2学年の「学びの道しるべ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章と図表を結び付けて筆者の考えを捉えたり、登場人物の人物像と相互関係を捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第3学年の「学びの道しるべ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、科学と社会との関係について自分の考えを広げたり、表現の特徴や工夫を捉え評価したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・第1学年の「方言と共通語」の単元において、共通語と方言の役割について理解するために、北海道や東北地方で使われる「疲れた」の意味を表す「こわい」の言葉
 - ・第2学年の「視野を広げる」の単元において、筆者の主張を捉えたり、筆者の主張について知識や経験と結び付けて自分の考えを深めたりするために、旭山動物園に勤めていた博物館研究員奥山英登の『動物園でできること』
 - ・第3学年の「ものの見方・完成を養う」の単元において、単元の学習で学んだ「読み方」を活用できるようにするために、北海道に縁のある作家宮下奈都の『谷間の君へ』
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・各学年の第1単元に「グループディスカッション」を設け、効果的に話し合うための「こつ」を系統的に示されていること
- 次に、「光村図書」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の「学習（手びき）」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、説明の工夫を捉えながらものの見方を広げたり、根拠を明らかにしながら伝え合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2学年の「学習（手びき）」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、構成を捉え説明の仕方を工夫したり、根拠を吟味し説得力を高めたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第3学年の「学習（手びき）」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、問題意識をもち社会に視野を広げたり、対象を評価し多様性の中で自分の考えを確立したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。

- ・ 第1学年の「学習を振り返ろう」の単元において、方言と共通語の果たす役割について理解するために、スピーチの例として、北海道で使われている「…さる」という方言

「学習を振り返ろう」の単元において、事実と意見を読み分けるために、説明や記録の文章の例として、北海道の網走地方気象台が取り上げられている。
- ・ 第2学年の「郷土ゆかりの作家・作品」の単元において、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する心を養うために、北海道を舞台にした作品の例として、『塩狩峠』

「本の世界を広げよう」の単元において、様々なジャンルやテーマの本を紹介するために、自然を敬うアイヌの人々に伝わる神々の物語を収録した『カムイ・ユーカラ』
- ・ 第3学年の「学習を振り返ろう」の単元において、自分の考えを広げたり深めたりするために、文章の例として、アイヌ民族の知恵が込められた地名の解説

「『私の一冊』を探しにいこう」の単元において、自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解するために、北海道が舞台の『羊と鋼の森』の冒頭
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・ 各学年の最後に、一年間で身に付けた力の確認ができるよう、三領域の学習内容の問題に取り組む「学習を振り返ろう」を掲載されていること
 - 次に、「教育出版」についてである。
 - 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・ 第1学年の「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、筆者の主張の視点を整理しながら読んだり、作品の人称・視点を意識しながら読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・ 第2学年の「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自分の知識や経験と結び付けて考えたり、イメージの変化に注目して描かれた世界を想像したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・ 第3学年の「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自分の使う言葉や話す場について意識したり、互いの考えを尊重し根拠が妥当であるか評価したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・ 第1学年の「言葉の小窓3 方言と共通語」の単元において、方言と共通語の特徴を知るために、全国各地の方言で語られる桃太郎の一つとして、函館市の方言

「言葉の自習室」の単元において、ユーカラ研究に取り組んだ女性の生き方について考えるために、旭川に縁のある知里幸恵の生涯を紹介した『銀のしづく降る降る』

- ・第2学年の「短歌の味わい」の単元において、情景や心情を掘り起こし、声に出して短歌を読むために、北海道出身の歌人である穂村弘の鑑賞文
「広がる本の世界1」の単元において、教材に関わる話題や内容を扱っている図書を紹介するために、宮下奈都の北海道を舞台にした小説『羊と鋼の森』
- ・第3学年の「青春の歌－無名性の光」の単元において、自分の読書生活を振り返り、様々な本や文章を読むために、北海道出身の歌人である穂村弘の評論文
「広がる本の世界8」の単元において、教材に関わる話題や内容を扱っている図書を紹介するために、北海道在住の技術者植松努の『NASAより宇宙に近い町工場』

- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・学習の方法を習得させるため、各学年の教材の冒頭に、教材を主体的に学ぶための知識と方法を具体的に示した「学びナビ」を位置付けていること
 - ・各学年の最後に、全国学力・学習状況調査やPISAなどを踏まえ、これからの社会に求められる読解力・表現力を育成する問題に取り組む「学びのチャレンジ」を掲載していること

会 長 これから質疑応答を行う。国語の調査研究報告について質問等はないか。

Q：主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、主体的に学ぶための見通しのもたせ方、対話的で深く学ぶための工夫、学習の振り返りや自己評価の配慮について、それぞれの観点について、再度説明を願う。

A：主体的に学ぶためには、各者ともにその目標の達成に向けてどのように学習を進めていくか、どのような力を身に付けさせていく学習なのか、など見通しをもって主体的に学習を進められるように構成されている。

東書では「てびき」、三省堂では「学びの道しるべ」、教育出版では「学びナビ」光村図書では「学習の窓」を設定している。

次に、対話的で深い学びを実現するための工夫についてである。各者とも、自分の考えを紹介・発表したり、グループディスカッションやプレゼンテーションなどの伝え合う学習活動を設定したりしながら、深い学びへ到達させるような工夫がなされている。

最後に、学習の振り返りと自己評価についてである。各者とも、学習の目標やこの学習で身に付けさせなければならない力について、複数の観点で自己評価し、次の学習に活かせるように工夫されている。

Q：見通しのもたせ方について、各者の特徴・特色を説明願う。

A：東京書籍、三省堂及び光村図書については、見通しをもたせる記載内容が教材の後ろの手引きの欄に記載されている。教育出版については、教材の前に記載されている。

Q：新学習指導要領においては、SDGs、さらにはESDが新たに盛り込まれているが、各者どのような工夫がされているか説明願う。

A：各者共通してSDGs関連のテーマを取り上げ、学習活動を設定したり、教材を設定したりしている。

光村図書では、第3学年の教科書において、セヴァン・スズキの「リオの伝説のスピーチ」など、関連するテーマを取り上げている。

教育出版においては、全学年において、「持続可能な未来を創るために」というSDGs教材の単元を設定し、正解のない問いに向き合いながら考えを深めさせている。

Q：北海道・上川管内に関わりのある教材について、説明願う。

A：各者とも、北海道と関わりのある内容の記載はある。例えば、日本地図の中に深く北海道が記されている、地名が脚注に出ている。

東京書籍では、教材文または文章の中では大きく取り上げられてはいない。

三省堂では、第2学年で、旭川の旭山動物園について書かれた評論文の教材「動物園でできること」を掲載している。

教育出版では、第1学年で、ユーカラ研究に取り組んだ女性の生き方について考える教材「銀のしずく降る降る」を掲載している。

光村図書では、巻末の、全国学力・学習状況調査に対応した「学習を振り返ろう」の問題文として、第1学年で「網走地方気象台の流氷観測」に関する文章、「北海道の方言」に関する文章、第3学年で、「アイヌ民族がつけた地名」に関する文章を掲載している。

Q：新学習指導要領において、情報の扱い方に関する事項が新設されたが、各者ではどのような取り扱われ方がされているか、特色があればご説明願う。

A：東京書籍では、巻頭の領域別学習内容一覧表に「情報と情報との関係を捉える」を設定し、三領域で扱っている教材を確認できるようになっている。

三省堂では、各学年に「情報と関係づける」単元を位置付けており、特に、第2学年ではデータやグラフから情報を読み取り、対話を通して自分の考えを深める学習活動を設定している。

教育出版では、第1学年において、池上彰「全ては編集されている」、第2学年において「SNSから自由になるために」、第3学年において「メディア・リテラシーはなぜ必要か」を掲載している。

光村図書では、「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」で、「原因と結果」「比較・分類」などの学習要領について例示したり、図解で解説したりしている。また、学んだことをトライアル問題で確認している。

会 長 他の質問はないか。（なし）

※小委員長退席

会 長 引き続き、国語の採択の審議に入る。

- ・教育出版に「学びナビ」がある。最初に学習に入る前に、どのように学べばよいか示している部分は、主体的に・対話的に学ぶ、深い学びを届けるという意味では、欠かせない点だと考える。また、全学年でSDGsを取り上げているという点がよかった。よって、教育出版がよいのではないか。
- ・最近の子どもの学習状況を考えると、冒頭で各単元の学習目標を明確にし、方向性を出していくことが必要だと考える。教育出版の「学びナビ」が、各学年の物事の考え方を整理して方向性を出したり、読み方等について整理されたりしていて、分かりやすくそれぞれの学習の目安が立てられる。

- ・「学びナビ」では、それぞれの学習する項目を教材文の最初に配置し、評価できるが、解説の内容が非常に濃い。教材文を読む前の学習として時間を要し、学びナビを十分に理解させることが難しいことから、要点をまとめるとよい。一方、教師にとっては、方向性を立てる上で非常に有効である。

子どもに学習の見通しをもたせる点では、光村図書がよい。見通しをもつ、答える、読み深める、考えもつ、理解一致する、のように学習の流れが明記されていて、「学びナビ」に該当する部分については「学習の窓」にコンパクトにまとめられている。

- ・教師の見通しが立つということは子どもたちの見通しにつながることであるので、教育出版がよいのではないか。

会 長 これまでの審議の経過を踏まえて、国語は「教育出版」と決定することとしてよろしいか。（異議なし）

それでは、国語については、「教育出版」の教科用図書を採択することと決定する。

会 長 つづいて、書写について、調査研究報告書に基づき調査結果を小委員長から報告願う。

小委員長 書写小委員長の桜庭である。書写の調査研究結果について報告申し上げます。

- はじめに、「東京書籍」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、点画の書き方や字形の整え方について考えたり、自分が書いた文字を使って学習したことを説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2学年の「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、点画の省略について考えたり、自分が書いた文字を使って学習したことを説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第3学年の「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、身の回りの文字の目的と工夫について考えたり、学習したことについて、分かったことなどを話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・第1学年の「年賀状を書こう」において、都道府県の行書一覧に「北海道」の文字
 - ・第2学年の「文字のいずみ」において、手書き文字の例として、「北海道庁」の石碑の文字、活字の例として、北海道のキャッチフレーズ「その先の、道へ。北海道」

- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・ 全ての各単元末の「振り返りの活動」位置付け、学んだことを説明したり話し合ったりする対話的活動が取り上げられていること
- 次に、「三省堂」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・ 第1学年の「目標を確かめよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書き方を学ぼう」を参考にして、字形の整え方と筆使いについて考えたり、学習したことが他の文字ではどこに使われているか説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・ 第2学年の「目標を確かめよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書き方を学ぼう」を参考にして、点画の省略について考えたり、学習したことが他の文字ではどこに使われているか説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・ 第3学年の「目標を確かめよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りの生活の中から印象に残った文字の工夫や効果を考えたり、手書き文字や活字の例を参考にして、文字の魅力を話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・ 第2学年の「点画の省略／筆順の変化」において、四十七都道府県名のなぞり書きとして「北海道」の文字
「行書と仮名の調和」において北海道にゆかりのある石川啄木の短歌
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・ 単元末の「振り返り」において、書いて身に付けることに焦点を当て、学んだことが実際に活用できているかを書いて確認したり、自分が学んだことを文章で書き残したりすることができるよう工夫されていること
- 次に、「教育出版」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・ 第1学年の「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、筆脈や配列について考えたり、「筆脈」や「配列」など、書写の学習用語を用いて学習した内容について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・ 第2学年の「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、点画の省略について考えたり、「点画の省略」や「筆順の変化」など、書写の学習用語を用いて学習した内容について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動

- ・第3学年の「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、点画の形や方向の変化について考えたり、「点画の形」や「点画の方向の変化」など、書写の学習用語を用いて学習した内容について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・第1学年の「行書学習のはじめに」において、生活の中で生きている行書の例を示すために、「登別地獄谷」や「釧路湿原駅」の看板、「札幌市役所」の石碑
 - ・第2学年の「学習を生かして書く」において、題字の工夫例を示すために、「北海道新聞」
 - ・第3学年の「多様な表現による文字」において、身の回りにある文字の例を示すために、「五稜郭跡」の石碑
巻末資料の「都道府県一覧表」に「北海道」
「小包伝票の書き方」の小包の伝票の住所に「札幌市中央区北23条西1-1-44」、
「書写テストで確認」のはがきの差出人住所に、「石狩市花川北九条五丁目二一」の例
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・冒頭の「学習の進め方」において、話合いの観点を示し、より深く理解できるよう「話し合いには書写の学習用語を使おう」と学習用語が取り上げられていること
- 次に、「光村図書」についてである。
 - 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学習の窓」を参考にして、漢字の筆使いについて考えたり、漢字を構成する点画の種類とその筆使いについて話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2学年の「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学習の窓」を参考にして、点画の省略について考えたり、楷書と行書を比べて、点画が省略される理由を話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第3学年の「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学習の窓」を参考にして、効果的に伝えるための文字の使い分けについて考えたり、字体の違うそれぞれの文字から受ける印象とその理由を話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・第3学年の全国文字マップにおいて、身の回りにある文字として、北海道の「BOYS BE AMBITIOUS」の石碑の写真

- ・全学年の書写ブックにおいて、都道府県名の練習として北海道の文字
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・硬筆練習帳「書写ブック」を別冊とし、生徒の実態に応じた指導ができるよう工夫されていること

会 長 これから質疑応答を行う。書写の調査研究報告について質問等はないか。

Q：北海道と関わりのある内容を取り上げている資料等の箇所数について改め説明願う。

A：東京書籍では第2学年において2か所、三省堂では石川啄木の範囲で1か所、教育出版では7か所、光村図書では1か所取り上げられている。

Q：取り上げられている文字の難易度に差があるかと、教科書のサイズについて説明願う。

A：難易度については、各者大きな差はないように見受けられる。

教科書のサイズについては、光村図書と三省堂は、B5版である。

教育出版と東京書籍は、A2版であり、開くと半紙に近い大きさとなっている。

Q：書写の学習題材について、国語の教科書と関連する内容について代表的なものについて説明願う。

A：東京書籍では、第1学年で、「案内の手紙を書こう」「年賀状を書こう」の題材、第2学年で、「本のポップをつくろう」の題材、第3学年で「書いて味わおう平家物語なぞり書き」が取り上げられている。特に第3学年の「書いて味わおう」では、国語科において平家物語を音読で味わい、書写において書いて味わうようにしている。

三省堂では、各学年末「やってみよう」という活動（第1学年は「新聞づくり」、第2学年は「情報誌作成」、第3学年は「名言集をつくる」）において、国語の学年末教材と同じ活動を取り上げ、手書きの作品例を掲載している。国語科で内容を学習し、書写で書き方を学習する構成となっている。

教育出版では、「縦書きノート例」「季節の行事と書写」「お勧めの本の帯、ポップ」など、国語との関連教材を取り上げている。

光村図書では、「季節のしおり」で、第1学年「俳句、短歌など」、第2学年「枕草子」、第3学年「短歌・詩」のなぞり書きを取り上げ、国語科との関連を図り、書いて味わうようにしている。

※小委員長退出

会 長 引き続き、書写の採択の審議に入る。

- ・各者とも国語科との関連が図られていることが確認されたことから、国語科と同じ「教育出版」がよいのではないか。
- ・国語の指導要領における学習活動と連携を図るという目標で、教師にとって指導計画が立てやすい。また、普段の授業で自然と連携を図ることも可能になるので「教育出版」がよいのではないか。

会 長 他の意見はないか。（なし）

書写は「教育出版」と決定することとしてよろしいか。（異議なし）

それでは、書写については、「教育出版」の教科用図書を採択することと決定する。

会 長 この後、社会の分野ごとに地理・歴史・公民・地図をそれぞれ小委員長からご説明いただき、それぞれ質疑・決定をさせていただく。

それでは、つづいて、地理について、調査研究報告書に基づき調査結果を小委員長から報告願う。

小委員長 社会小委員長の蟹谷である。地理の調査研究結果について報告申し上げる。

- はじめに「東京書籍」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「日本の位置」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、参加型学習である「みんなでチャレンジ」を設けたり、多様な意見に触れたりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「地域構成」の單元において、北方領土の地理的特色を理解するために、自然環境に関する文章や写真
 - ・「日本の諸地域」の單元において、先住民族であるアイヌ民族の文化や伝統工芸品の継承と観光などについて理解を深めるための特設ページ「もっと地理 現代に受けつがれるアイヌ民族の文化」
 - ・「日本の諸地域」の單元において、北海道地方の自然環境の中での人々の工夫を読み取るために、富良野市の道路標識や旭川市のロードヒーティングの写真
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」の採用や、従来使用していたキャラクターを廃止したことで、学習者が必要な情報に集中できるようにしていること
 - ・資料掲載部分と本文との地色を区別し、紙面の構造を明確化していること
- 次に、「教育出版」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「防災教育」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、興味や関心を広げるコラム「地理の窓」を設けたり、個人やグループで学びを深めたりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「地域構成」の單元において、日本の領土をめぐる対立について理解を深めるために、北方領土に関する主な出来事を示した年表
 - ・「日本の諸地域」の單元において、先住民族であるアイヌ民族の生活と近代化の歩みやアイヌ文化の継承と新たな文化のかたちなどについて理解を深めるための特設ページ「アイヌ民族の文化に学ぶ持続可能な社会づくりの視点から」

- ・「日本の諸地域」の単元において、北海道の冬季における生活上の工夫について理解を深めるために、旭川市の二重になっている住宅玄関の写真
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・小学校との接続・関連を図るために、小学校で学習した地図やグラフに関する基礎的な学習を振り返る「地理にアプローチ」を第1編直前に位置付け、中学校第1学年へのスムーズな接続を図られるようにしていること
- 次に、「帝国書院」についてである。
 - 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「地域の在り方」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、社会的な課題の分析と、その解決に向けた構想に取り組む活動を設けたり、生徒自身が学習の振り返りを行ったりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられていること
 - 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「地域構成」の単元において、日本の領土の移り変わりについて理解を深めるために、北方領土に関する国境の変化を示す地図
 - ・「日本の諸地域」の単元において、多文化・多民族と共生する「持続可能な社会」の実現について理解を深めるために、アイヌ語に起源をもつ北海道の地名に関する地図や、アイヌ文化についての文章や写真
 - ・「日本の諸地域」の単元において、北海道の自然を生かした観光について理解を深めるために、中富良野町のラベンダー畑を楽しむ観光客の写真や、冬季に行っている旭川市の旭山動物園におけるペンギンの雪上散歩の写真
 - その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・インデックス、グラフや地図などの資料において、全ての生徒が識別しやすい色を使っていること
 - ・折れ線グラフなどでは、線種を変えたりするなどの工夫を行い、色以外の情報からも読み取ることができるよう工夫していること
- 次に、「日本文教出版」についてである。
 - 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「世界の諸地域」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、節末で地球的課題を設けたり、「チャレンジ地理」等で地球的課題を解決したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動
 - 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「地域構成」の単元において、日本の領土をめぐる対立について理解を深めるために、北方領土付近の国境の変化を示した地図
 - ・「日本の諸地域」の単元において、北海道の開拓の歴史を理解するために、アイヌ語に由来する主な地名に関する地図

- ・「地域構成」の単元において、北海道の自然を生かした観光についての理解を深めるために、美瑛町の花畑と十勝岳の写真

○ その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。

- ・学習内容を全体の中に位置付けて学習が進めることができるように、インデックスを設けていること

会 長 これから質疑応答を行う。地理の調査研究報告について質問等はないか。

Q：各者、レイアウトや課題のページ、右側ページ下のまとめの欄が似ている印象を受けるが、生徒が自らの考えをもって対話的に学ぶという観点から工夫されている点について説明願う。

A：各者とも、各時間において見開きで授業展開されるように構成されている。また、左上に学習課題、右下で確認・まとめとなっている。

特に、東京書籍では、単元を究める課題として「探求課題」が設定されており、「探求課題」を追究するために毎時間の学習課題を追究し、単元末において、「知識の確認」と「探求課題を解決しよう」のコーナーが設けられている。

教育出版では、「学習テーマ」（課題）が設定されている。また、課題を解決するための毎時間の学習課題が設定されており、単元末に「知識の確認」及び「表現しよう」「意見交換しよう」のコーナーが設けられている。

帝国書院では、「節の問い」が設けられている。「節の問い」を解決するために、数時間の学習課題を通じた授業を進め、単元末において「節の問い」を解決するための「3ステップ」が設けられている。

日本文教出版では、学習指導要領解説・社会編で明示されている主題が設けられている。課題や問いという文言はないが、主題として設けられている。また、毎時間の学習課題を通して学習を進め、単元末で確認をするとともに、「アクティビティ」で、思考力・判断力・表現力を養う活動が位置付けられている。

Q：学習の振り返りや自己評価について、各者の特色について説明願う。

A：各者、各時間、見開きのページの最後のところで確認できるようになっている。東京書籍では、全ての単元終末に「まとめ」や「振り返り」が位置付けられている。教育出版では、各単元の終末に「学習のまとめと表現」が位置付けられている。帝国書院では、各単元の最後に「節の学習を振り返ろう」が設けられている。節の問いに対する理論的な説明をさせる活動や、多面的・多角的に考えることができる活動が設けられている。

日本文教出版では、単元末の活動において、1単位時間において、①「導入資料」→②「学習課題」→③「見方・考え方」→④「深めよう」→⑤「確認」の学習展開を繰り返し学習する流れで、振り返りが位置付けられている。

Q：各者の提供するデジタルコンテンツの内容について特徴的なものや掲示方法等の特徴について説明願う。

A：東京書籍・教育出版・日本文教出版は、独自のマークで可視化し、QRコードを読み取ると、所定のサイトにつながる。

帝国書院は、QRコードを随所に掲載している。

会 長 他の質問はないか。（なし）

※小委員長退席

引き続き、地理の採択の審議に入る。

- ・教育出版では、ほぼ全ての時間に地理・歴史・公民との関連が記載されており、地理の学習においても歴史的分野との関連・連携を踏まえ、地理的特徴を追究する学習に最適であると考えます。
- ・教育出版は、小学校で学んだ地図やグラフに関する基礎的な学習でアプローチをし、中学校第1学年へのスムーズな接続が図られている。また、自ら学ぶ力を支える支援や内容の工夫がされており、グループでの学習や個人学習において学びを深めることができるよう配慮がされている。
- ・章の始めに「学習の見通し」を配置し、章全体の流れが提示されている。また、各ページに、単元全体のどの部分を学習しているのかを表示したり、事実と考えが掲載したりし、学習を深める工夫がされている。ノートづくりについて詳しく解説されるなどのことから、教育出版がよいのではないかと。

会 長 他の意見はないか。（なし）

これまでの審議の経過を踏まえて、地理は「教育出版」と決定することとしてよろしいか。（異議なし）

それでは、地理については、「教育出版」の教科用図書を採択することと決定する。

会 長 つづいて、歴史について、調査研究報告書に基づき調査結果を小委員長から報告願う。

小委員長 社会小委員長の蟹谷である。歴史の調査研究結果について報告申し上げる。

- はじめに「東京書籍」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・応仁の乱の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、戦いの様子を描いた複数の時代の資料を比較し、社会の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「近世の日本」の単元において、我が国における文化の多様性に気付き、多様性を尊重する態度を養うために、旭川とゆかりのある知里幸恵
 - ・「近代の日本と世界」の単元において、領土編入の経緯について理解し、国際社会における課題を捉えるために、我が国が抱える領土をめぐる問題の背景に北方領土
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」の採用や、従来使用していたキャラクターを廃止したことで、学習者が必要な情報に集中できるようにしていること
 - ・資料掲載部分と本文との地色を区別し、紙面の構造を明確化していること

- 次に、「教育出版」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・鎌倉時代の人々の暮らしの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、絵巻物を中心に複数の資料を比較し、人々の生活の様子について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「近代の日本と世界」の単元において、アイヌの文化を伝えた人たちとして、旭川とゆかりのある知里幸恵とその人たちの生きた社会の様子
 - ・「現代の日本と世界」の単元において、対立の現状やその歴史的経緯、平和的解決への在り方を理解するために、日本の固有の領土である北方領土をめぐる課題
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・小学校第6学年の歴史学習との接続・関連を図るために、小学校で学習した歴史上の人物に、「小学校」マークが付けられていること
- 次に、「帝国書院」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・元禄文化の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、屏風に描かれた二つの装飾画から共通点を見いだして、文化の特色について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「中世の日本」の単元において、日本の伝統文化について多面的・多角的に理解を深めるために、旭川とゆかりのある知里幸恵の「アイヌ神謡集」
 - ・「近代の日本と世界」の単元において、「近代化」による社会の変化について多面的・多角的に理解を深めるために、「歴史を探ろう『移住と開拓が進む北海道』」の特設を設けて、北海道開発とアイヌの人々への理解について
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・インデックス、グラフや地図などの資料において、全ての生徒が識別しやすい配色がされていること
 - ・折れ線グラフなどでは、線種を変えたりするなどの工夫を行い、色以外の情報からも読み取ることができるよう工夫されていること
- 次に、「山川出版社」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・日露戦争と東アジアの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、風刺画や地図などの様々な資料を基に日露戦争に至る過程とその戦争が与えた影響について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動

- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「中世の日本」の単元において、アイヌ民族と世界とのつながりについて理解を深めるために、アイヌ民族の交易の様子や生活・文化の特色
 - ・「現代の日本と世界」の単元において、なぜ北方領土問題の解決に向けた努力を継続していく必要があるかについて理解を深めるために、北方領土問題に関する写真や地図などの資料
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・世界史も含めた歴史全体の流れをつかむことができるようにするために、各章の扉に日本史と世界史の年代を上下に分けて示す帯年表を掲載し、視覚的に時代の流れを理解することができるようにしていること
 - ・各時代の世界の移り変わりの状況を視覚的に理解することができるようにするために、2・8・13・16・18世紀の世界を地図とイラストで紹介する見開きページを設けていること
- 次に、「日本文教出版」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・承久の乱の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、複数の資料から読み取ったことをもとに、古代から中世への時代の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「近世の日本」の単元において、アイヌ民族の文化の独自の発展について多面的・多角的に考察させるために、アイヌ民族の和人との交易の様子と独自の文化
 - ・「現代の日本と世界」の単元において、北方領土問題の経緯を分かりやすく示すために、北方領土付近の国境の変化を表す地図
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・学習内容を全体の中に位置付けて学習を進めることができるように、インデックスを設けていること
- 次に、「育鵬社」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・江戸幕府による鎖国の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、鎖国を肯定する視点と否定する視点を比較し、鎖国の影響について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動
- 「その他」については、教科書の見本が手元にないことから、調査研究ができなかった。
- 次に、「学び舎」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。

- ・近世の統一事業の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、織田信長、豊秀吉臣、徳川家康が実施した政策と人々の生活への影響について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動

○ 「その他」については、教科書の見本が手元にないことから、調査研究ができなかった。

会 長 これから質疑応答を行う。歴史の調査研究報告について質問等はないか。

Q：主体的・対話的で深い学びの実現に関して、歴史の見方・考え方を深めさせるために、各者が行っている工夫について説明願う。

A：東京書籍については、構造化された問い、探求的な課題、学習課題、最後に探求課題の流れで構成されており、節目節目で大きな課題解決の単元構成をしている。

教育出版は、各章の導入で「学習を始めよう」のコーナーを設け、これから学習する時代を概観させ、見通しをもって学習を進められるようにしている。

帝国書院は、章や節の始めに「問い」の形で表された学習課題を示し、地理と同様の構成になっている。

山川は、「ステップアップ」で、1単位時間の週末に新たな課題を追究する活動や、「歴史を考えよう」で、学んだことを基に考察する活動を掲載するなどの工夫がなされている。

日本文教出版では、「各時代の特色」をとらえる単元では、導入ページで見通しをもたせ、「見方・考え方」を働かせながら考察を進めることができるようにしている。

Q：グローバル化の視点の中で、パラリンピックやSDGsの取り上げ方について説明願う。

A：SDGsに関して調査報告させていただく。SDGsについては、各者とも国際的な問題として地理・歴史・公民の全分野で取り扱われている。

Q：1点目に、世界の歴史、日本の歴史について、各者どのような排列のもと構成されているかについて説明願う。

2点目に、各者小・中学校の接続に関して工夫している点があれば教えていただきたい。

A：1点目については、山川出版社が日本史と世界史の年代を上下に分けて示している点が該当していると思われる。

帝国書院と日本文教出版については、見出しから、それぞれの歴史についてどこを学習しているのか分かる工夫がなされている。

2点目については、教育出版が特設ページを設けている。

会 長 他の質問はないか。（なし）

※小委員長退席

引き続き、歴史の採択の審議に入る。

- ・教育出版では、小学校段階での学びを、深い学びにつなげる特設ページを設けている。また、深い学びにつながるリサイクルページや、SDGsにつなげる特設、「歴史をさぐる」という漫画が効果的である。

- ・SDGsについては、目標が図として示されているものが少ないが、東京書籍には出ていた。教育出版もよかったが、今後を見据えた部分を踏まえると東京書籍の方がよいのではないか。
- ・子どもの立場から見ると、毎時間の学習の中でどのように学習課題を見据え、どのような形で学習に取り組むか考えるときに教育出版がよいと思う。1単位時間において生徒が課題意識をもって主体的に学習しやすい構成が工夫されているように感じる。また、基本的な知識が分かりやすく、キャラクターや「歴史の窓」「歴史の技」「学びリンク」など、それぞれの観点から子どもたちが学びやすいと思う。

会 長 他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、歴史は「教育出版」と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、歴史については、「教育出版」の教科用図書を採択することと決定する。

会 長 つづいて、公民について、調査研究報告書に基づき調査結果を小委員長から報告願う。

小委員長 社会小委委員長の蟹谷である。公民の調査研究結果について報告申し上げる。

- はじめに「東京書籍」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・個人の尊重と日本国憲法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本国憲法で保障されている人権について調べ、人権上の課題の解決策について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「私たちと政治」の单元において、アイヌ民族の先住民族としての権利の保障について理解を深めるために、特設「もっと公民 先住民族としてのアイヌ民族」
 - ・「私たちと政治」の单元において、平等権の理解を深めるために、千歳市のアイヌ語弁論大会や旭川市博物館学芸員によるアイヌ語地名と日本語地名の併記についての説明、白老町の国立アイヌ民族博物館に関する記述
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」の採用や、従来使用していたキャラクターを廃止したことで、学習者が必要な情報に集中できるようにしていること
 - ・資料掲載部分と本文との地色を区別し、紙面の構造を明確化していること
- 次に、「教育出版」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。

- ・私たちの暮らしと経済の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、消費生活と経済活動について調べ、暮らしにおける経済活動の意味について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「私たちと政治」の単元において、平等権についての理解を深めるために、「アイヌ文化振興法」及び「アイヌ施策推進法」、萱野茂氏の写真や白老町のウポポイ完成予想図
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・小学校の学習をより深めることができるよう、「事象や人々の相互関係」、「産業と情報との関わり」、「選択・判断、構想」などについて、小学校の学習内容との関連が図られていること
- 次に、「帝国書院」についてである。
 - 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・民主政治の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、国の政治の仕組みや地方自治について調べ、民主政治を発展させるために必要なことについて話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動
 - 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「私たちと政治」の単元において、現代社会に残る偏見や差別をなくすための学習を深めるために、「アイヌ文化振興法」及び「アイヌ施策推進法」、アイヌ民族である萱野茂氏のアイヌ語への思い
 - その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・インデックス、グラフや地図などの資料において、全ての生徒が識別しやすい色を使っていること
 - ・折れ線グラフなどでは、線種を変えたりするなどの工夫を行い、色以外の情報からも読み取ることができるよう工夫していること
- 次に、「日本文教出版」についてである。
 - 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・現代社会の特色の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本の伝統文化の特徴と多様性について調べ、日本の文化を受け継いでいくために大切なことについて話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動
 - 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「私たちと政治」の単元において、差別のない社会を実現するために、「アイヌ文化振興法」及び平取町のアイヌ文化の体験学習の写真
 - その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。

- ・学習内容を全体の中に位置付けて学習が進めることができるように、インデックスを設けていること
- 次に、「自由社」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・世界と日本の安全保障の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、国際平和協力活動への取組について調べ、私たちにできる国際平和への貢献について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動
- 「その他」については、教科書の見本が手元にないことから、調査ができなかった。
- 次に、「育鵬社」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・民主政治のしくみの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、選挙の仕組みや国民の政治参加について調べ、投票率の向上に向けた対策について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動
- 「その他」については、教科書の見本が手元にないことから、調査ができなかった。

会 長 これから質疑応答を行う。公民の調査研究報告について質問等はないか。

Q：QRコードの取扱いや構成について、各者分野ごとに共通するものがあるか教えていただきたい。

A：自由社・育鵬社以外の4者については、QRコードが掲載されており、独自のコンテンツ並びに関連するリンクにつながるようになっている。

東京書籍・教育出版・日本文教出版は、専用のマークがあり、関連するQRコードを読み取ることでコンテンツ並びに関連するリンクにつながるようになっている。

帝国書院は、QRコードそのものが貼り付けられている。

会 長 他の質問はないか。（なし）

※小委員長退席

引き続き、公民の採択の審議に入る。

- ・地理・歴史・公民との関連を踏まえ、小学校との接続が意識された教育出版がよいと思う。
- ・教育出版が最も見通しが立てやすく、その他の関連が明記されている。各分野と共通した排列・構成であることを考慮すると、教育出版がよいと思う。

会 長 他の意見はないか。（なし）

これまでの審議の経過を踏まえて、公民は教育出版と決定することとしてよろしいか。（異議なし）

それでは、公民については、教育出版の教科用図書を採択することと決定する。

会 長 つづいて、地図について、調査研究報告書に基づき調査結果を小委員長から報告願う。

小委員長 社会小委員長の蟹谷である。地図の調査研究結果について報告申し上げる。

- はじめに「東京書籍」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・一般図に「注目したい記号」を設け、地図の読図を通して分かることを地域の特色を踏まえて整理したり、資料図にキャラクターの吹き出しを設け、テーマに沿って考察したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動
- 特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・地理・歴史・公民における学習内容との連携を図り、学習内容を補完したり、より深めたりする資料
- 次に、「帝国書院」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・一般図に「地図活用」のコーナーを設け、地図の読図や比較を通して分かることを整理したり、資料図に学習課題を設け、テーマに沿って考察したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動
- 「その他」に関わり、北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「日本の地域別詳細図」において、北方領土や樺太を含めた日本の領土の移り変わりについて理解を深めるために、日本とロシア・ソ連の国境の変遷を示す地図
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・A4版の大きな判型にしたことにより、世界や日本の諸地域の学習において、より広域なつながりを確認できる工夫がされていること

会 長 これから質疑応答を行う。地図の調査研究報告について質問等はないか。

Q：1点目に、ユニバーサルデザインについて、工夫されている点についてうかがいたい。2点目に、QRコードの工夫について教えていただきたい。

A：1点目については、各者ユニバーサルフォントを使用している。紙の軽量化についても図られている。帝国書院は、判型が大きくなってはいるが、現行地図より15%軽い紙を使用している。

2点目については、東京書籍は「Eマーク」が数箇所あり、QRコードに差し替えて読み取る仕組みとなっている。

帝国書院は、随所に掲載されたQRコードから関連サイトにつながる。

会 長 他の質問はないか。（なし）

※小委員長退席

会 長 引き続き、地図の採択の審議に入る。

- ・色の使い方を工夫して、細かい文字でも見られるように配慮されている帝国書院がよいと思う。

- ・帝国書院は、A4版になったが軽量化され、使いやすく見やすい点が良い。
- ・地図は見やすく分かりやすいことが一番大切だと考えている。帝国書院は、A4版で広域的に地図を見ることができる。他にも、北海道の特色として北方領土や樺太に関わる日本の領土の変遷が示されており、理解を深めるための工夫がされている。

会 長 これまでの審議の経過を踏まえて、地図は「帝国書院」と決定することとしてよろしいか。（異議なし）

それでは、地図については、「帝国書院」の教科用図書を採択することと決定する。

会 長 つづいて、数学について、調査研究報告書に基づき調査結果を小委員長から報告願う。

小委員長 数学小委員長は武田である。数学の調査研究結果について報告申し上げる。

- はじめに、「東京書籍」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の文字式の利用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、本棚を作るのに必要な棒の本数について考え、図や式の活用について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2学年の式による説明の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、カレンダーの数の囲み方と囲んだ数の和の性質について考え、誤った考え方などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第3学年の三角形と比の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、四角形の各辺の中点を結んでできる四角形について考え、条件を変えて調べた結果について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・第1学年の「数と式」の単元において、身の回りにおける負の数について考える活動の中で、「札幌市の気温」
また、数量を正の符号・負の符号を用いて表す活動の中で、「幌加内町」「札幌市の桜の開花日」
「データの分析と活用」の単元において、身の回りのデータを基に計算されている事柄に関心をもたせるために札幌の降水確率
 - ・第3学年の「図形」の単元において、三平方の定理を活用してロープウェイの長さを求める活動の中で、「函館山ロープウェイ」
- 次に、「大日本図書」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の関数の利用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、速さが異なる3人の移動の様子について考え、表、グラフ、式から読み取れることについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動

- ・第2学年の平行と合同の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、星形の図形の角の和を求める方法について考え、多角形の性質を利用する考え方について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第3学年の関数の利用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自動車の停止距離について考え、停止距離を求めるために必要なことについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
- ・第1学年の1章「数の世界の広がり」の単元において、身の回りにある負の数について考える活動の中で札幌市の気温、旭川市の気温
7章「データの分析」の単元において、都道府県別の中学校数の傾向を考察する活動の中に北海道
 - ・第2学年の5章「三角形と四角形」の単元において、遊園地にある乗り物の動きから平行四辺形になるための条件を考える活動を通して、三角形や平行四辺形の基本的な性質を具体的な場面で活用するために、ルスツリゾート（北海道留寿都村）のフライングカーペット
MATHFULの中で、桜の開花日を関数のグラフや式から考察する活動の中で、函館市
 - ・第3学年の4章「関数」の単元において、荷物を送る料金を関数のグラフや表から考察する活動の中で相似な図形を活用して地図上の距離を求める活動の中に北海道
5章「相似と比」の単元において、直接測ることができない海上における2地点間の距離を相似な図形の性質をもとに縮図をかくて求めるため、利尻山の高さの写真
- 次に、「学校図書」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
- ・第1学年の作図の利用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、銅鏡の一部からもとの形を復元する方法について考え、円の中心の決め方について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2学年のいろいろな確率の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、くじを引く順番と当たりやすさについて考え、条件を変えて考えた結果について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第3学年の円周角と円の接線の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、円の接線の作図の方法について考え、接線が作図できる理由について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
- ・第1学年の「正の数・負の数」の単元において、単元の導入や減法と加法の関係について考えるために札幌市冬の気温が -5 (-2) であること

「1次方程式」の単元において、1次方程式を活用して解決することを学習するために、北海道で生産された小麦粉1kgを897km離れた東京までトラックで輸送する際のフード・マイレージについて考察する例

「空間図形」の単元において、生徒の興味・関心を高めるために、身の回りのいろいろな立体の中から、三角錐の例として札幌市のモエレ沼公園テトラマウンドの写真

「空間図形」の単元において、点と平面との距離を具体的な場面で考えるために、北海道函館市の電灯の写真

「データの活用」の単元において、ヒストグラムから資料の傾向を調べるために、札幌市の2018年2月の最高気温に関わるヒストグラム

・第2学年の「データの分布」の単元において、単元の導入や箱ひげ図からデータの読み取り方を学習するために、札幌市の80年の年間降水量表紙見返しにおいて、合同な図形への興味・関心を高めるために、北海道函館市の五稜郭の写真

・第3学年の「相似な図形」の単元において、有効数字について学習するために、札幌市の人口は1952356人であること

・表紙裏では、相似な図形や立体への興味・関心を高めるために、北海道旧本庁舎の写真

巻末では、数学史について学ぶことを通して数学への興味・関心を高めるために、緯度の求め方で札幌が北緯 43° であることや伊能忠敬が作成した日本地図の説明に、地名として蝦夷地（北海道）

● 次に、「教育出版」についてである。

○ 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。

・第1学年の正の数、負の数の活用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、平均の求め方の工夫について考え、グループで考えの相違点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動

・第2学年の1次関数の活用において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、印刷枚数と印刷料金の関係について考え、1次関数の表・式・グラフの特徴について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動

・第3学年の平方根の活用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、B5判の紙の短い辺と長い辺の関係について考え、どのような四角形で構成されているかについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動

○ 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。

・第1学年の2章「正の数、負の数」の単元において、 $-$ の意味を考察するために、札幌市の気温や羅臼岳、知床岳の高さ

・第2学年の2章「連立方程式」の単元において、入館した人数を求める文章問題のモデルとして、雪の美術館（旭川市）

7章「データの分析」の単元において、最高気温のデータを四分位範囲や箱ひげ図を用いて比較するために、札幌市の気温と大通り公園の画像

・第3学年の4章「関数 $y=ax^2$ 」の単元において、放物線の性質がどのように活用されているか知るために、11m電波望遠鏡（苫小牧市）の画像

5章「相似な図形」の単元において、相似な図形の性質を活用して縮尺から距離を求める設問として、滝川市周辺の地図

7章「三平方の定理」の単元において、身の回りにある山から見渡すことができる距離について直角三角形を見出して求める題材として、恵庭岳

● 次に、「啓林館」についてである。

○ 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。

・第1学年の方程式の利用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、先生の年齢が生徒の年齢の3倍になる年数について考え、方程式の解の意味について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動

・第2学年の箱ひげ図とデータの活用において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、昔に比べて気温が高くなっているかについて考え、箱ひげ図から読み取れることについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動

・第3学年の三平方の定理の利用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、富士山の頂上から見渡せる範囲について考え、範囲を求めるために必要なことについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動

○ 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。

・第1学年の「正の数・負の数」の単元において、0より小さい数について学んだり、時差について正の数・負の数を使って考察したりするために、観測史上1位の最低気温は -41.0°C で、1902年1月25日に北海道旭川市で観測されたことや北海道と九州の緯度に約 15° の違いがあること

・第2学年の「連立方程式」の単元において、知床岬の写真

・第3学年の「標本調査とデータの活用」の単元において、導入場面に10歳以上の人の1日の平均睡眠時間を都道府県別にまとめたものの中で、北海道は471（分）であること

● 次に、「数研出版」についてである。

○ 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。

・第1学年の文字を使った式の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、マグネットの個数を求める式について考え、操作や図を使った解き方について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動

・第2学年の多角形の外角の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、外角の和を求める式について考え、誤った考え方などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動

- ・第3学年の平行線と線分の比の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、三角形と線分の比を活用する方法について考え、補助線の引き方について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・第1学年の1章「正の数と負の数」の単元において、 $-$ の意味を考察するために、札幌市の気温図
 - 2章「文字と式」の単元において、 x を用いた式で気温を表す問題において、札幌大通公園（北海道）の写真
- 次に、「日本文教出版」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の文字式の活用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、碁石の総数を表す式について考え、図を使った解き方について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2学年のくじの当たりやすさの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、くじを引く順番と当たりやすさについて考え、樹形図等を使った解き方について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第3学年の三平方の定理の活用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、海岸から見える限界の地点について考え、直角三角形を見いだすことについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動

会 長 これから質疑応答を行う。数学の調査研究報告について質問等はないか。

Q：1点目に、各者はどのようなことに配慮して、基礎的な知識・技能の習得を目指しているか。

2点目に、思考力・判断力・表現力の育成について、各者はどのような場面設定の中で、思考力・判断力・表現力の育成をしようとしているか。

A：1点目については、東京書籍では、類題を繰り返し練習するための「補充の問題」が設けられ、基礎的な内容を何度も取り組むことができるようになっている。その他の教科書については、何度もアプローチをかけて基礎基本の定着に努めている。表現力については、章の学習の最後に、これまでの学習でできるようになったことや、勉強していることの確認の部分があったり、学習を通してどのような力を高めたいというようなアプローチをしたりしている教科書もある。全ての教科書において、必ず基礎基本を押さえて、最後に確認をする流れになっている。

Q：子どもたちが数学的な見方や考え方を身に付けるために、各者どのような工夫をしているのか。

A：具体的な事象をもとに、数学が使われている場面や数学が使える場面など、意欲面の向上も含め、様々な視点から数学の視点に迫るように教科書が作られている。

Q：小学校の算数との関連で、学習の振り返り方について特徴があれば教えてい

ただきたい。

- A：小学校の学習内容の振り返りとして0章を設定し、それを関連付けた1章に進んでいくものがある。特に第1学年の教科書では、各章に振り返りを設け、章ごとに振り返ることができるシステムになっている。第2、3学年では、第1・2学年の内容の振り返りを位置付け、必ず復習をしてから次の学習につなげている。また、第2学年の教科書においても小学校の内容を取り上げているものもある。

会 長 他の質問はないか。（なし）

※小委員長退席

会 長 引き続き、数学の採択の審議に入る。

- ・教育出版と東京書籍は、生徒の思考の流れを意識した授業展開が意識されており、確実な定着を図ることができる。また、例題を活かして問題ができるように配慮されているため、基礎技能の習得に関しては他者より優れていると思われる。

思考力・判断力・表現力の育成については、教育出版では、「学びあい」「伝え合う」などの言語活動を行う設定がある。さらに、「考えよう」では問題解決的な学習を通じて思考力・判断力・表現力の育成を工夫している。

日本文教出版では、キャラクター・吹き出しなどを使い、話し合ったり説明ができるかという内容を取り上げ、思考力・判断力・表現力の育成を図っている。数研出版についても、「見つけよう」や「やってみよう」に取り組むことで、3つの力をのばすことができるように工夫している。

活用力や応用力に関わる比較では、教育出版と東京書籍のバランスがよい考える。配分・分量・内容の程度で比較すると、日本文教出版と教育出版がよいと思う。

これらを総合的に見ると、教育出版がよいと思った。

- ・教育出版は、要所要所のページの横に振り返りのためのページ数が記載されており、分からないことがあれば、既習の内容に戻って確認することが容易にできるよう工夫されており、学習内容を確認・定着させる工夫がされている。また、生活とのつながりから、数学の学ぶ意味が分かりやすく具体的に紹介されている。授業についていくことが困難な生徒に配慮しながら意欲的に学習できる状況がつくられている教育出版の教科書がよいと思う。

- ・教育出版は、問いの中で間違いを例にして説明している。

学校図書は、問いの中で「正しいかな？」という例を示している。

日本文教出版は、間違いやすい問題を例にして間違いを説明させている。

また、教育出版と日本文教出版は構成が非常に似ているが、他の点を踏まえると教育出版の方がよいと思った。

- ・北海道との関わりには子どもたちが興味関心を示すと思われるが、教育出版が最も関連する箇所が多い。また、第1学年では教科書の本編に入る前の教科書の使い方や学習の仕方、数学的な考え方に関する記述に関して、一番詳しく丁寧である。

会 長 他の意見はないか。（なし）

これまでの審議の経過を踏まえて、数学は「教育出版」と決定することとしてよろしいか。（異議なし）

それでは、数学については、「教育出版」の教科用図書を採択することと決定する。

会 長 つづいて、理科について、調査研究報告書に基づき調査結果を小委員長から報告願う。

小委員長 理科小委委員長の妹尾である。理科の調査研究結果について報告申し上げる。

● はじめに「東京書籍」についてである。

○ 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。

・第1学年の「大地の変化」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、火山噴出物について調べ、上空までふき上げられた火山灰はどうなるかについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動

・第2学年の「生物のからだのつくりとはたらき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、蒸散の仕組みについて調べ、植物が蒸散を行う利点について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動

・第3学年の「地球と私たちの未来のために」において、学習課題を設定し、素材となる物質の性質について調べ、物質の性質と用途との関係について分析・解釈する場面で話し合い、考えを広げたり深めたりする活動

○ 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。

・第1学年の「大地の変化」の単元において、日本の石灰岩の分布を把握するために、富良野市の鹿越の地名

・第2学年の「巻末資料」において、理科の学習の深めるための郊外施設の活用の紹介として、旭山動物園の写真

・第3学年の「地球と宇宙」の単元において、俳句と合わせて月の見え方のイメージをもたせるために、旭川市の月の出と菜の花畑の写真

・「持続可能な社会をつくるために」の単元において、日本の国立公園の様子を確認するために、大雪山の地名

○ その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。

・A4スリム版のサイズで、机上に広げた際も活動しやすいよう工夫されていること

・科学の歴史については、漫画を活用し生徒がより関心をもつことができるよう工夫されていること

・Before・Afterで章ごとに自分の成長・変化を振り返ることができるよう工夫されていること

・キャリア教育への対応として、多くのコラム欄で、学習内容に関連する様々な職業に就いている人を紹介していること

- 次に、「大日本図書」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の「生物の世界」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生物について調べ、生物を分類するための観点について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2学年の「気象の仕組みと天気の変化」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、気圧について調べ、容器のふたや、吸盤を押しつけているものについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第3学年の「運動とエネルギー」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、振り子の運動について調べ、位置エネルギーと運動エネルギーの変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・第1学年の「身近な物理現象」の単元において、光源と光の道筋の紹介するために、「太陽から出た光と影（美瑛町）」が取り上げられている。
「大地の変化」の単元において、日本の活火山の位置を確認するために、大雪山、十勝岳
「生物を見に行こう！」において、日本の動物園、水族館、植物園の紹介のために、「旭川市旭山動物園（旭川市）」の画像と場所
 - ・第2学年の「生物を見に行こう！」において、日本の動物園、水族館、植物園の紹介のために、「旭川市旭山動物園（旭川市）」の場所
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・対話的で深く学ぶために、単元末に「探究活動」や「話し合おう」の場面を設定していること
 - ・URLやQRコードについては、AR技術を利用し動画で確認できる。
 - ・日常生活との関連については、「くらしの中の理科」を提示し、学びを日常と結び付けていること
 - ・「事故防止について」実験の説明では「安全」「注意」マークが付されていること
- 次に、「学校図書」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の「身のまわりの物質」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、物質の分類について調べ、身のまわりのものの分類について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2学年の「化学変化と原子・分子」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、物質の成り立ちと化学変化について調べたり、物質の変化について話し合ったりすることで、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第3学年の「生物どうしのつながり」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生物の成長・生殖について調べ、生物がどのように殖え、成長するのかについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動

- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・第3学年の巻末資料「学校外で調べよう」において、科学的な見方・考え方を養うために、地域の施設として「旭川市旭山動物園」
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・「Can-Do List」を位置付け、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力など」、「学びに向かう力など」の3つの資質・能力について、各章の学習内容における具体の目標が示されていること
 - ・各学年において、第1学年で「問題発見」、第2学年で「仮説・計画」、第3学年で「振り返り」の重点化が図られていること
 - ・「理科のトリセツ」で、理科を学ぶ意義や探究の方法が示されていること
 - ・「対話的な学び」を図るため、巻末に討議用のホワイトボード「学びの交換アイデアボード」が付されていること
- 次に、「教育出版」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の「光・音・力」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、音を伝えるものについて調べ、音が何によって伝えられているかについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2学年の「化学変化と原子・分子」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、試験管に残った物質の性質について調べ、酸化銀の加熱による変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第3学年の「生命の連続性」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、タマネギの根の成長の様子について調べ、根の先端に近い部分の細胞の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・第1学年の「物質の状態変化」の単元において、自然界における水の状態変化を想起させるために、富良野市内の川の水面から蒸発した水が冷やされて湯気のようなようになった様子（川霧）の写真
「大地の歴史と地層」の単元において、チャートの見られるところを紹介するために、占冠村の写真
 - ・第2学年の表紙において、身近な自然現象に興味関心をもたせるために、朝日に照らされて輝く氷の結晶（サンピラー）の写真
「気象とその変化」の単元において、空気中の水の変化について想起させるために、占冠村の朝に発生する雲海、美瑛町のダイヤモンドダストの写真
巻末資料において、校外施設を活用して学習を深めさせるために、旭川市の旭山動物園
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。

- ・主体的・対話的な深い学びの実現に資する学習内容への対応として、学習展開を「(疑問)→課題→仮説→実験・観察→考察→結論」を基本とし、生徒が見通しをもって学習できるよう工夫されていること
 - ・「話し合おう(発表しよう)」「活用しよう」の場面設定がなされ、意図的に対話的な学習活動やより深い学びの機会を設定していること
 - ・章の導入場面において「学習前の私」、章の終末場面において「学習後の私」が設定され、学習を通して自身の成長をメタ認知することができるよう工夫されていること
 - ・自然災害について学習する章は同じ著者が執筆を担当し、3年間を通して学習がつながるように構成されていること
 - ・学習の安心・安全への配慮として、「禁止」「注意」「指示」の3区分のマークを使って注意喚起していること
- 次に、「啓林館」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
- ・第1学年の「光・音・力による現象」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、光の反射の様子について調べ、鏡に入射する光と反射する光との関係について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2学年の「地球の大気と天気の変化」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、水蒸気が水滴になるときの温度について調べ、冷やしたコップの表面の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第3学年の「化学変化とイオン」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、電池の仕組みについて調べ、ダニエル電池の内部の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
- ・第1学年の「いろいろ生物とその共通点」の単元において、身の回りの動物園、水族館で飼育されている動物を観察することで動物の体のつくりや特徴や生活の仕方を詳しく知ることができることや生物の展示の工夫を知るために、旭山動物園
「活きている地球」の単元において、日本の主な火山の分布に有珠山・昭和新山、十勝岳、駒ヶ岳
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
- ・章のはじめに「学ぶ前にトライ!」「学んだ後にリトライ!」が設定され、単元を通して得た知識を活用し、再度考えることができるよう工夫されている。
 - ・「探Qシート」によって、自ら課題を設定し、仮説を立て計画を考える探求的な学習活動が各単元に設定されていること
 - ・「みんなで解決」で疑問が提示されており、個人で考え交流することで見方や考え方が広がるよう工夫されていること

- ・身近な事象が多く掲載され、理科の知識と身近な自然現象や生活との関わりとの関連付けが図られていること
- ・単元末には対話形式の問題や学んだ知識を活用して、自分の考えを表現する問題が配置されていること

会 長 これから質疑応答を行う。理科の調査研究報告について質問等はないか。

Q：1点目に、子どもたちが興味を示すために、身のまわりの事象の中での結び付きから興味関心を引き出すための工夫点について説明願う。

2点目に、小学校からの振り返りのための工夫点について説明願う。

A：1点目の日常との結び付きに関して、東京書籍は、コラムを入れている。

大日本図書は、「くらしの中の理科」というコーナーを設け、理科の有用性を感じさせている。

学校図書は、巻頭に「ミッションX」を設け、職業との関連をもたせていたり、教科書の途中途中に「学びを日常に生かしたら」や「やってみよう」で活動をさせている。

教育出版は、「活用しよう」で日常の疑問についての思考や、「ハローサイエンス」で日常生活での重要な役割や持続可能な社会について気付かせるコラムを用意している。

啓林館は、「部活ラボ」は部活動との関連、「お料理ラボ」は食生活との関連、「お仕事ラボ」は職業との関連、というようにコラムを掲載している。

2点目の小学校との関連については、各者とも触れられている。

会 長 他の質問はないか。（なし）

※小委員長退席

会 長 引き続き、理科の採択の審議に入る。

- ・各者とも単元ごとの導入にこれから学ぶことが記載されており、見通しや課題をもって観察・実験を行い、学びを深めていく工夫がされている。デジタルコンテンツについて、実験において、映像で見ながらグラフと実際の実験が結びつくようなコンテンツがあった。そのような点から、物事の考え方・見方、コンテンツのバリエーションの工夫で、東京書籍がよいのではないか。

- ・東京書籍については、分かりやすい説明や、科学者のエピソードなど親しみやすい工夫がされている。また、「ここがポイント」「考察しよう」「探求を振り返ろう」「学びを生かして考えよう」などは、教師が学習を進めやすく、生徒も分かりやすい工夫だと思う。

啓林館は、各単元にQRコードがあるので振り返って探す必要がない点がよい。また、分かりやすい羅列に編集されており、生徒が自分で探求しやすい。

- ・実験における事故防止の注意喚起に関して、教育出版と大日本図書が特に配慮している。北海道と関わりのある学習内容の取扱いに関しては、教育出版が上川管内の自然や施設を取り上げている。
- ・安全性への配慮は教育出版がよいと思う。

会 長 他の意見はないか。（なし）

これまでの審議の経過を踏まえて、東京書籍と教育出版で意見が分かれていることから、理科は再協議を行うこととしてよろしいか。（異議なし）

- 会長 それでは、理科については、「再協議」を行うことと決定する。
- 会長 つづいて、音楽について、調査研究報告書に基づき調査結果を小委員長から報告願う。
- 小委員長 音楽小委委員長の米津である。音楽の調査研究結果について報告申し上げる。
- はじめに「教育出版（一般）」についてである。
 - 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、言葉の重ね方を工夫しながらイメージに合った音楽をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動
 - ・第2・3学年の「CMソングをつくろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、言葉や音階の特徴を生かして旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動
 - 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・歌唱の活動として、「ソーラン節」、鑑賞の活動として「ソーラン節」の他に「江差追分」の歌声
上川・旭川に係る教材として、「雪の降る街を」及び、旭川のクリスタルホールにある詩碑の写真
 - その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・「比べてみよう」や「深めてみよう」において、主要教材で学んだことを生かして、より確かな学びになるように教材が設定されていること
 - 次に、「教育出版（器楽）」についてである。
 - 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「不思議な旋律」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、楽器の音色や響きを生かし、全体の構成を工夫して表現するなど、考えを広げたり、深めたりする学習活動
 - 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「弾く楽器の仲間たち」の題材において、文化や伝統について調べるために、宗谷のアイヌにも伝わっていた「トンコリ」
 - 次に、「教育芸術社（一般）」についてである。
 - 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の「My Melody」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、音のつながり方を工夫しながら旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動
 - ・第2・3学年の「Let's Create!」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、リズムの重なりや音の出し方を工夫してリズムアンサンブルをつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動

- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・歌唱の活動として「ソーラン節」、鑑賞の活動として「江差追分の歌声」、郷土芸能の「アイヌ古式舞踊」
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・鑑賞教材において、写真や図、イラストを効果的に用いることによって視覚的に理解しやすいように構成されていること
- 次に、「教育芸術社器楽」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「深めよう！音楽」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、パートの役割や曲の構成を生かして表現を工夫するなど、考えを広げたり、深めたりする学習活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「篠笛」の題材において、篠笛を使った各地に伝わる郷土の祭りや芸能について調べるために、江差町の「五勝手獅子舞」

会 長 これから質疑応答を行う。音楽の調査研究報告について質問等はないか。

Q：1点目に、北海道や上川に関わる教材については、教育出版の方が多という回答でよろしいか伺いたい。

2点目に、QRコード等の活用状況はどのようになっているか伺いたい。

A：1点目の北海道・上川に関わる教材については、教育出版は旭川の部分が記載されているため、多いといえる。両者ともQRコードを活用し、生徒が一人1台の端末を活用した学習活動をできるように、指導上の便宜が図られている。また、教育出版では、目次に示されている通り、QRコードから関連するものを見るように示されている。教育芸術社は、全ての教材ではないが、必要な教材にQRコードが示されている。

会 長 他の質問はないか。（なし）

※小委員長退席

会 長 引き続き、音楽の採択の審議に入る。一般と器楽を一括して出版社を決めたいと思うがよろしいか。（異議なし）

それでは、一般・器楽それぞれ意見をいただきたい。

・教育出版では北海道・上川の教材が大きくあげられており、教科書の写真も大きくて見やすい。総合的に見ても教育出版がよいのではないか。

会 長 これまでの審議の経過を踏まえて、音楽は教育出版と決定することとしてよろしいか。（異議なし）

それでは、音楽については、教育出版の教科用図書を採択することと決定する。

会 長 つづいて、美術について、調査研究報告書に基づき調査結果を小委員長から報告願う。

小委員長 美術小委委員長の西田である。美術の調査研究結果について報告申し上げる。

- はじめに「開隆堂」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の「ロゴマークで印象づける」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りのロゴタイプの形や色彩を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2・3学年の「錯視の効果を生かして」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、伝えたい目的や内容と驚きやユーモアの工夫を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。

<第1学年>

- ・「心ひかれる風景」山 富士山〈片岡球子〉(北海道出身)
- ・「写し取る形」はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト〈岡部昌生〉(北海道出身)
- ・「ロゴマーク」北海道と東北地方北部の形を縄文土器と渦巻き文に見立て た
ロゴマーク
- ・「絵の具で表す」「春を待つそっち川とピンネシリ」(生徒作品・新十津川町/
当別町)
- ・「文字を活用する」路面電車のレーンの写真
- ・「色を学ぶ、色を知る」四季の風景の写真(札幌市大通公園)
- ・「美術館へ行こう」「隠された庭への道」ダニ・カラヴァン(札幌芸術の森美術館)

<第2・3学年>

- ・「風景が語るもの」「芸術の森の風景」(生徒作品・札幌芸術の森美術館)
- ・「形を研ぎ澄ませて」妙夢〈安田侃〉(札幌駅)
- ・「場と形の響き合い」「アルテピアッツァ美唄」(安田侃彫刻美術館)
- ・「美術はつなぐ世界と日本」鯉文花器〈エミール・ガレ〉(北海道立近代美術館)
- ・「美術はつなぐ世界と日本」初音ミク(札幌市本社)
- ・「型から生まれる形」ルウンペ(アイヌ民族文化財団蔵)
- ・「美術の歴史と交流」中空土器(函館市蔵)
- ・「美術の歴史と交流」ガラスのピラミッド〈イサムノグチ〉(モエレ沼公園・
北海道札幌市)
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・見やすさを考慮し、大判(A4ワイド判)となっていること
 - ・表現と鑑賞の内容ごとに、生徒の見方や考え方を働かせるための多様な資料が掲載されていること
- 次に、「光村図書」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。

- ・第1学年の「心ひかれるこの風景」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、風景を描いた作者の思いや表現の工夫を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2・3学年の「あかりがつくる空間」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、様々な光が生活に与える印象や効果を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。

<第1学年>

- ・「美術で学ぶこと」つつじ〈山口蓬春〉（北海道出身）
- ・「人のしぐさを捉える」ボタン〈佐藤忠良〉（北海道ゆかりの作家・旭川市彫刻美術館に所蔵品あり）
- ・「生活をいろどる文様」アイヌ民族の衣服の文様（旭川市博物館蔵）
- ・「美術館を楽しもう」ゴッホ展のポスター（北海道立近代美術館）

<第2・3学年>

- ・「ジャポニズム」鯉文花器〈エミール・ガレ〉（北海道立近代美術館蔵）
 - ・「環境と共に生きる彫刻」モエレ沼公園〈イサム・ノグチ〉（北海道札幌市）
 - ・「地域の魅力を伝える」六花亭の紙袋（帯広市本社）
 - ・「石で作る」ブラック・スライド・マントラ〈イサム・ノグチ〉（北海道札幌市）
 - ・「日本の伝統工芸」二風谷イタ（北海道アイヌ民族）
 - ・「北と南の民族衣装」アットゥシアミブ（アイヌ民族文化財蔵）
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
- ・鑑賞した作品に感じたことを書き込むことができるトレーシングペーパーが付いていたり、本物の質感等を実感することができるよう和紙に描かれた絵巻物や版画を掲載したりするなど、鑑賞活動の工夫がなされていること
 - ・各校の実情に応じた題材を構成することができるよう、豊富な教材が掲載されていること

● 次に、「日本文教出版」についてである。

- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
- ・第1学年の「じっくり見ると見えてくる」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りにあるものの形や色彩などの特徴を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2・3学年の「季節を楽しむ心」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、季節感を取り入れた和菓子や食器のデザインを交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動

○ 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。

<第1学年>

- ・「材料に命を吹き込む」足長グモ〈大西重成〉（北海道出身）

- ・「印象に残るシンボルマーク」札幌市き章(北海道札幌市)
- ・「日常の中の美術」さっぽろ雪まつり(北海道札幌市)
- ・「折って、切って、巻いて」アイヌ模様の切り絵(北海道アイヌ民族)
- ・「人間っておもしろい」男の児〈佐藤忠良〉(北海道ゆかりの作家・旭川市彫刻美術館に所蔵作品あり)

<第2・3学年上>

- ・「動き出しそうな動物たち」チンパンジー〈本濃研太〉(北海道出身)
- ・「文化の出会いがもたらしたもの」鯉文花器〈エミール・ガレ〉(北海道立近代美術館蔵)
- ・「暮らしに息づくパブリックアート」モエレ沼公園〈イサム・ノグチ〉(北海道札幌市)、生誕〈安田侃〉(北海道出身・札幌市創成川公園)

<第2・3学年下>

- ・「私の色、みんなの色」アットゥシ(アイヌ民族文化財団蔵)
- ・「受け継ぐ伝統と文化」二風谷イタ(北海道アイヌ民族)
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・生徒の発達の段階に応じた指導を行うために、各学年1冊ずつで構成されていること
 - ・見やすさを考慮し、大判(A4ワイド版)となっていること

会 長 これから質疑応答を行う。美術の調査研究報告について質問等はないか。

Q：学習課題の提示について、各者の取扱い方について教えていただきたい。

A：各者とも、各題材の冒頭において、育成したい資質・能力に基づいた学習課題が提示されている。

開隆堂については、3つの観点に基づく3つの学習課題が、生徒に分かりやすく提示されている。3つの観点が、生徒にとってイメージしやすいマークを用いて示されている。

光村図書については、3つの観点を総括した形で、題材に応じて、1、2点の学習課題が、生徒に分かりやすく示されている。

日本文教出版については、3つの観点に基づいて3つの学習課題が、生徒に分かりやすく示されている。3つの観点が、生徒にとってイメージしやすいマークを用いて示されている。

Q：学習指導要領の改訂に伴い、評価の目標が3つの観点から明確にされたが、3つの目標の取扱いについて、各者の取扱いを教えていただきたい。

A：開隆堂と日本文教出版については、3つの資質・能力を具体化した目標を生徒に分かりやすく示している。

光村図書については、各題材の中に鑑賞が位置付けられており、その中で表現と鑑賞の学習活動があり、表現の目標と鑑賞の目標の中に3つの資質・能力が総括されて示されているので、生徒にとっては分かりやすいが、指導者はそれを再構築する必要があると考えられる。

会 長 他の質問はないか。(なし)

※小委員長退席

会 長 引き続き、美術の採択の審議に入る。

- ・日本文教出版については奥行きや構造が鑑賞できるような工夫や、A4ワイド版にすることで原寸大のページになり、より実体的に鑑賞できる工夫など、作品の鑑賞教材について工夫がされている。
- ・光村図書については、教科書の構成が鑑賞→表現→鑑賞の授業の流れに沿った構成であり、授業の全体を見通しやすいため、主体的な学びを促すための学習の見通しを立てやすいという点で優れている。
- ・目標の課題設定について、日本文教出版については、3つの資質・能力に合わせた3観点で提示されており、教師が評価するときに学習課題と評価が一元化するので評価しやすい。
- ・光村図書については、表現の学習と鑑賞の学習に合わせた2観点で示されておりよいと思った。
- ・3つの観点が明確になっているのは開隆堂と日本文教出版であるが、他分野と同じような内容にならないように配慮されているのは日本文教出版であった。
- ・日本文教出版の教科書の理念が、小学校から中学校、高校への連続性を踏まえた構成となっている。さらに、ピカソのゲルニカを、「あの日を忘れない」というテーマで扱い、自然災害の脅威と戦争の惨劇などの作品を通して、美術がもっている力について考えさせ、人間の生き方に触れている。また、学習指導要領の改訂に伴い、第2・3学年の発達の特徴を考慮して内容や選択、一題材における時間数などについて検討されたことを踏まえ、3冊の改訂を行い、発達の段階を考慮している。
- ・光村図書はアイヌの題材が入っており、北海道に関する内容が題材に入っている。他にも菓子の包装紙など、北海道になじみのある作品や商品が取り上げられている。

会 長 これまでの審議の経過を踏まえて、「光村図書」と決定することとしてよろしいか。（異議なし）

それでは、美術については、光村図書の教科用図書を採択することと決定する。

会 長 つづいて、保健体育について、調査研究報告書に基づき調査結果を小委員長から報告願う。

小委員長 保健体育小委委員長の倉である。保健体育の調査研究結果について報告申し上げます。

● はじめに「東京書籍」についてである。

○ 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。

- ・保健分野では、健康と環境の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、資料を基に衛生的な水はどのように確保されているのかを調べ、海外の水道水の管理面や健康面で考えられる問題について話し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動

- ・ 体育分野では、運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、資料を基に運動やスポーツ中における社会性について考え、心身や社会性の発達にどのような効果をもたらすかを話し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・ 自然災害による危険に、北海道胆振東部地震(2018年)による土砂崩れの被害、液状化の被害
 - ・ 環境への適応能力に、2009年の夏、北海道のある山での事故
 - ・ 生活に伴う廃棄物の衛生的管理に、家庭から回収されたごみの種類と量の例(北海道札幌市、平成29年度1年間の合計)
 - ・ 章末資料に、2. スポーツ雪合戦、「昔の雪遊びの楽しさを現代に再生しよう」と1989年に北海道壮瞥町で第1回昭和神山国際雪合戦の開催
- 次に、「大日本図書」についてである。
 - 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・ 保健分野については、健康な生活と疾病の予防の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、資料を基にがんにかかりにくくするための方法を話し合い、身近な大人に向けてがんに対する行動のアドバイスを発表し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動
 - ・ 体育分野については、運動やスポーツの多様性の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、資料を基に運動やスポーツの必要性について話し合い、自分にとっての必要性や楽しさについて考えるなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動
 - 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・ オリンピック・パラリンピック(口絵8)に、「日の丸飛行隊」と呼ばれたスキージャンプ70m級の選手たち(1972年札幌大会)、1972年アジア初の冬季大会を札幌で開催
 - ・ 世界で活躍する人々を支える健康に、陸上選手、1994年、重本沙絵
 - ・ 自然災害による傷害の防止に、自然災害の例、地震の二次被害、土砂崩れ、北海道厚真町
 - ・ 自然災害による傷害の防止に、日本で起こった主な地震(1980年以降)、北海道南西沖地震1993年(M7.8)、北海道胆振東部地震2018年(M6.7)
 - ・ 国際的なスポーツ大会の文化的な役割に、日本のオリンピック・パラリンピック大会、1972年札幌(冬季)大会、1972年、アジア初のオリンピック冬季大会の開催
- 次に、「大修館」についてである。
 - 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。

- ・保健分野については、心身の機能の発達と心の健康の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、資料を基に性衝動や性の尊重、性情報への対処などについて考え、性情報の入手先を情報の具体性や正確性などの視点で確認するなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動
 - ・体育分野については、体育分野については、運動やスポーツの多様性の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、運動やスポーツへの多様なかわり方について考え、中学校生活の中でできることを「する、見る、支える、知る」の視点で発表し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
- ・私たちの成長と運動やスポーツの広がり、五輪メダリストの北海道出身の「高木美帆」
 - ・運動やスポーツの多様性に、健康のために走る、北海道室蘭市の写真
 - ・クローズアップに、いじめられている君へ、相談はかっこ悪くない、ボクシング元世界王者で北海道出身の「内藤大助」の記事
 - ・自然災害によるけがの防止に、北海道胆振東部地震の二次災害(土砂崩れ)の写真
 - ・クローズアップに、アジアで初の冬季五輪大会が開催された札幌大会が紹介されている。
 - ・気象情報の適切な利用に、北海道において高温注意情報の発表
 - ・私たちの生活と環境問題に、北海道新聞、2019年3月3日の記事
- 次に、「学研教育みらい」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
- ・保健分野については、健康な生活と疾病の予防の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、過去1週間に行った運動について振り返り、資料を基に自分に適した運動内容や運動量を考え、生活の中に運動を取り入れる工夫について考えるなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動
 - ・体育分野については、運動やスポーツの多様性の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生涯に渡ってスポーツを楽しく続けるポイントについて考え、大人になってもスポーツを継続するために必要な環境や工夫について発表し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
- ・スポーツで世界を一つに、ラグビーのリーチ・マイケル選手
 - ・保健体育行って、見て、学ぼうに札幌オリンピックミュージアムと名誉館長阿部雅司さん
 - ・探求しよう！に、スキージャンプの例で高梨沙羅選手
 - ・障害の防止に、学習の見通しをもつ場面で北海道函館市の津波ハザードマップ

- ・自然災害を知るに、北海道胆振東部地震（北海道厚真町）の山崩れ
- ・文化としてのスポーツに、学習の見通しをもつ場面で北海道札幌市の人々の交流の様子
- ・探求しよう!に、第5回冬季札幌大会、1940年幻のオリンピック、1972年アジア初の冬季大会
- ・健康と環境に、学習の見通しをもつ場面で北海道厚真町の地震で出たごみを分別するボランティア

会 長 これから質疑応答を行う。保健体育の調査研究報告について質問等はないか。

Q：1点目に、教材の中で、今日的課題や特色について教えていただきたい。

2点目に、特色への配慮や取り上げ方について教えていただきたい。

A：1点目は、指導要領にも書かれているが、習得した知識・技能を活用し、課題解決あるいは分かりやすく伝える活動を各者ページ構成において重視している。また、運動の二極化傾向への配慮について、第1学年のスポーツの項目で取り上げられており、健康と疾病の予防については各学年で取り上げられている。2点目は、今日的な課題の取り上げに関しては、第2学年の学習内容の中に、がんの発生や予防の仕方、あるいは感染症の事項、そして今回はスマホと健康の内容が全者記載されている。また、新設内容として、調和のとれた生活という単位構成で新設され、具体的な健康課題に応じた取り上げ方であると思う。そのほか、インクルーシブ教育の内容や、ストレス・リラクゼーションへの対処、オリパラ教育の内容が取り上げられている。

Q：感染症などについて、生徒たちの理解をより深めるような工夫はあるか。そして、スポーツの「する・見る・支える」の3つの視点の配慮について、それぞれ教えていただきたい。

A：感染症の取り上げ方については、インフルエンザ含め様々な感染症が、各者第3学年の学習の内容に掲載している。

また、デジタルサイト等を取り上げ、感染症のグラフで示しているものも見られる。

I C Tの有効活用については、各者とも教科書冒頭の「教科書の使い方」等において、QRコードを示し、実習におけるデジタルコンテンツを閲覧できるような内容構成がとられている。一方、取り上げるデジタルコンテンツの量には差がみられる。

スポーツの視点については、先に述べたとおり、オリパラ教育が多く取り上げられている。

Q：中学校の保健体育は、体力の向上等について、実践的、生活の中の態度として育成していくことが求められる中で、個人が主体的に学ぶ、共生や多様性などのつながりなどについても指導・学習していく必要があると考える。これらの取組を各者の中で特徴的な内容について教えていただきたい。

A：先ず、体力の向上等に関しては、各者第1学年の学習内容において、日常との関わりを重視して取り上げられている。例えば、1日のライフサイクルを表等で見直し、自分の体力に合った運動の仕方を話し合う内容は、各者とも取り上げられている。

主体的な学びについては、各者とも、学習の目標・課題→追究→まとめの学習展開において、生徒が見通しをもって学ぶことができる内容構成になっている。主体的な学びが本文と挿絵で対応して活用しやすい構成になっているものもある。

会 長 他の質問はないか。（なし）

※小委員長退席

会 長 引き続き、保健体育の採択の審議に入る。

- ・東京書籍については、共生について学習を深めることができる。大修館についても、挿絵などを使って様々なスポーツやSDGsを取り上げている。また、感染症などについて、特集を掲載し、教科書で理論を学ぶことができる。
- ・学研教育みらいは、学習の進め方が分かりやすく示されているが、東京書籍の方が今学ぶことがまとめられている。
- ・東京書籍は、感染症の記述が充実しており、他教科との関連を考えて自分の生活に深く生かそうと提示されている。
- ・学研教育みらいでは、北海道との関わりの内容が最も多く、環境問題について図表を使って多く示されている。このことから、東京書籍がよいのではないかと考える。

会 長 これまでの審議の経過を踏まえて、保健体育は「東京書籍」と決定することとしてよろしいか。（異議なし）

それでは、保健体育については、「東京書籍」の教科用図書を採択することと決定する。

会 長 つづいて、技術・家庭について、調査研究報告書に基づき調査結果を小委員長から報告願う。

小委員長 技術・家庭小委員長の田中である。技術・家庭の調査研究結果について報告申し上げる。

● はじめに「技術・教育図書」についてである。

○ 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。

- ・「生物育成の計画を立てよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、写真などを活用して育成記録をまとめたり、育成結果や工夫した点を発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動

○ 次に、「その他」に関わり、北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。

- ・巻頭資料の「技術で変わる！私たちの生活」の「コミュニケーションを助ける技術」において、多言語を表示する技術を理解するために、「北海道札幌市の地下鉄表示」
- ・「B生物育成の技術」の「1章（育てて学ぼう）で学んだことをまとめよう」において、地域の伝統野菜を理解するために、「北海道の札幌大球キャベツ」

- ・「B 生物育成の技術」の「社会の発展と生物育成の技術」において、寒さに強いイネをつくる技術を理解するために、北海道のきらら397を改良した「ななつぼし」
- ・「B 生物育成の技術」の「社会の発展と生物育成の技術」において、持続可能な社会につながる畜産の技術を理解するために、北海道の「八雲牧場」
- ・巻末資料の「博物館に行ってみよう！」において、北海道札幌市の青少年科学館、豊平川さけ科学館、旭川市科学館サイバル、市立函館博物館
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・各内容において、効果的な説明や挿絵や実習例が掲載されていること
 - ・別冊の「技術ハンドブック」において、道具（工具）の解説や作業の方法が写真付きで解説されていること
- 次に、「技術・東京書籍」についてである。
 - 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生産者の立場からよりよい栽培方法を考えたり、栽培の成果・課題を基に改善を図ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - 次に、「その他」に関わり、北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「B 生物育成の技術」において、技術の最適化を見つけるために、北海道八雲町の24時間搾乳システム
 - ・「B 生物育成の技術」の「生物育成の技術とは何だろう」において、地域の特産物を調べるために、北海道の主な農作物である乳牛、肉牛、白菜、じゃがいも、にんじん、たまねぎ、さくらんぼ
 - ・「B 生物育成の技術」の「動物を育てる技術」において、省力化のための自動化の技術を理解するために、北海道八雲町の酪農ファーム
 - ・「C エネルギー変換の技術」の「電気エネルギーを変換し、機械を動かす」において、「新幹線の技術」を理解するために、「北海道・東北新幹線 E5系はやぶさ」
 - ・「D 情報の技術」の「これからの情報の技術」において、「人と AI の共存する未来」を理解するために、北海道函館市の人工知能研究者「松原仁」
 - ・巻末資料の「SDGsとTechnology」において、「小規模過疎地域における持続可能な地域社会の実現」を目指している地域として北海道上川管内の下川町
 - その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・技術の見方、考え方を捉えるために「最適化の窓」が掲載されており、各内容の学習において、安全性や経済性等について考えることができる工夫がなされていること
 - ・各内容の章末に「学習のまとめ」が豊富に掲載されており、振り返りの工夫がされていること

- ・「情報の技術」の内容において、「双方向性のあるコンテンツのプログラムによる問題解決」の章が設定されていること
- 次に、「技術・開隆堂」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生活をよりよくする方法を考え実践したり、自分の考えを根拠や理由を明確にして説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」に関わり、北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「B生物育成の技術」の「森林の育成技術」において、人工林の主な樹種と特徴を理解するために、北海道南部のアカマツと北海道石狩のトドマツ（アカトドマツ）
 - ・「B生物育成の技術」の「生物育成の計画の立て方（栽培ごよみ）」において、北海道を主産地とする作物であるトウモロコシ、ダイズ、ダイコン
 - ・「B生物育成の技術」の「生物育成の計画の立て方（栽培ごよみ）」において、北海道上川管内を主産地とする作物である富良野のラベンダー
 - ・「B生物育成の技術」の実習「甘みのあるミニトマトの栽培」を計画するうえで、トマトの基本情報を理解するために、主産地として北海道
 - ・「B生物育成の技術」の実習「ラディッシュの容器栽培」を計画するうえで、ラディッシュの基本情報を理解するために、主産地として北海道
 - ・「B生物育成の技術」の実習「イネの容器栽培」を計画するうえで、イネの基本情報を理解するために、主産地として北海道
 - ・「B生物育成の技術」の実習「スギ人工林の育成」を計画するうえで、スギの基本情報を理解するために、分布として北海道南部
 - ・巻末資料として、日本各地の伝統的な技、材料、工芸を理解するために北海道の二風谷イタ
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・「製作者に話を聞きました」「開発者に聞いてみました」など、技術者の視点を捉え、問題解決に向けて取り組みやすくなる工夫がされていること
 - ・「なぜこの製作を行うのか」に重点を置き、実習の流れを明確にするとともに、生徒が考えるためのヒントが掲載されていること
 - ・学習内容に関連する見出しを掲載し、関心を高める工夫をしていること
- 次に、「家庭・教育図書」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「私たちの消費生活」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、普段の生活において特に重要だと思う目標を考え、グループで話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動

- 次に、「その他」に関わり、北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「B衣食住の生活」の「地域の食文化を知ろう」において、地域食材を理解するために、北海道の「ななつぼし（米）」
 - ・「B衣食住の生活」の「地域の食文化を知ろう」において、地域食材を理解するために、北海道の「さけ、さんま、いか、かに」
 - ・「B衣食住の生活」の「地域の食文化を知ろう」において、全国各地のおもな郷土料理を理解するために、北海道の「石狩なべ」
 - ・「B衣食住の生活」の「和食の調理をしてみよう」において、地域の食材を用いた和食を理解するために、北海道の「三平汁」
 - ・「B衣食住の生活」の「私たちの住生活」において、日本各地の住まいを理解するために、北海道の「三角屋根」
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・付録の「献立シール」は、献立を考える際のヒントが付されていること
 - ・QRコードが豊富に掲載されており、動画を中心としたコンテンツや参考資料にリンクされていること
 - ・大切な語句が青字で書かれており、視覚的に捉えやすい工夫がされている。
 - ・小学校での既習事項との関連及び、他教科等との横断的な学びについて示されていること
- 次に、「家庭・東京書籍」についてである。
 - 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「責任ある消費者になるために」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、自分や家族の消費行動が社会に与える影響を話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - 次に、「その他」に関わり、北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「Aともに生きる」の「子どもにとっての家族」において、子育てをめぐる現状を理解するために、「北海道札幌市子育て支援総合センター」
 - ・「B自ら生活をつくる」の「日本の食文化と和食の調理」において、地域の食材の特徴を理解するために、北海道の「利尻昆布」
 - ・「B自ら生活をつくる」の「日本の食文化と和食の調理」において、全国各地の雑煮の特徴を理解するために、「北海道」
 - ・「B自ら生活をつくる」の「日本の食文化と和食の調理」において、各地の郷土料理を理解するため、「北海道の石狩鍋」
 - ・「B自ら生活をつくる」の「日本の衣文化」において、地域に伝わる衣文化を理解するために、「北海道のアットゥシ」
 - ・「B自ら生活をつくる」の「住まいと気候風土の関わり」において、日本各地の住まいを理解するために、「北海道の住まい」における寒さ
 - ・「B自ら生活をつくる」の「住まいと気候風土の関わり」において、日本各地の住まいを理解するために、「北海道の住まい」における雪対応

- ・「B自ら生活をつくる」の「災害への対策」において、台風被害を理解するために、「洞爺丸台風」
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・全ての生徒に技能の習得や定着が図られるように、写真やイラストで分かりやすく解説したり、デジタルコンテンツで動画が視聴できるようにしたりしていること
 - ・実物大写真・巻末付録・折込ページなど、分かりやすく実感を伴って学ぶことができる資料が付されていること
 - ・活動例や生活の課題と実践など、効果的に思考ツールの例が紹介されていること
- 次に、「家庭・開隆堂」についてである。
 - 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「持続可能な社会」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、自分たちがどのような取組ができるか話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動
 - 次に、「その他」に関わり、北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「B衣食住の生活」の「こんなにおいしい魚の調理」において、「日本周辺でとれる魚などの利用」を理解するために、「稚内：ホッケ、羅臼：サケ類、小樽：ホッケ、根室：サンマ・タラ類、釧路：タラ類・サンマ」
 - ・「B衣食住の生活」の「好きになる野菜の調理」において、「各地で生産されている野菜など」を理解するために、「北海道のたまねぎ、トマト、じゃがいも、だいこん、にんじん、ごぼう」と、伝統野菜として「札幌黄」
 - ・「B衣食住の生活」において「地域の食文化」を理解するために、「一尾の魚からつくられる郷土料理（さけの例）」と「めふん（アイヌ語でじん臓）」
 - ・「B衣食住の生活」の「地域の食文化」において、日本各地の郷土料理を理解するために、「北海道のちゃんちゃん焼き」
 - ・「B衣食住の生活」の「住まいのはたらき」において、地域による住まいの特徴を理解するために、北海道札幌市の住まい
「災害への備え」において、自然災害への対策を理解する目的で北海道の「雪害」
 - ・巻末資料の「伝統分野を受け継ぎ、生活にいかす」例として、北海道の「アットウシ織」
 - ・巻末資料において「日本で起きている災害」を理解するために、「有珠山噴火、釧路沖地震、北海道胆振東部地震、北海道南西沖地震、北海道十勝沖地震」
 - その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・小学校での既習事項と関連付けた指導を行うために、「小学生の学び」の項目を設けていること

- ・生徒が将来を考える参考となる、家庭分野に関連する職業人のメッセージ「先輩からのエール」を掲載し、キャリア教育との関連が図られていること
- ・調理実習の材料欄に、アレルギー物質を含む食材を色分けし、分かりやすく示していること

会 長 これから質疑応答を行う。技術・家庭の調査研究報告について質問等はないか。

Q：各社における技術・家庭それぞれの3つの内容の基礎的理解と習得に関わる工夫について、教えていただきたい。

A：東京書籍では、技術・家庭共通して本文中の重要語句はゴシック体で強調し、基礎的・基本的な知識を確実に習得できるように工夫されている。特に、技術においては、技術の原理・法則や基礎的な技術の仕組みについて、本文の内容を裏付ける図などを掲載することで、科学的な思考に基づく知識が習得できるように工夫されている。家庭分野については、各節の最後にはまとめの活動を設け、知識の定着を図っている。また、必ず身に付けさせたい基礎的な技能を「いつも確かめよう」にまとめ、技能を確実に習得できるようにしている。さらに、技能の習得のために、基礎技能を用いてできる実習例や難易度の低い実習例を取り上げている。

教育図書では、技術分野で基礎・基本の知識と技能を1章で習得できるような章構成にし、幅広い知識と教養を身に付けられるよう配慮されている。2章では、問題解決の手順を分かりやすく示すとともに、自らが見出した問題を解決する活動を取り上げることで、技術的な真理を求める態度を養うことができるよう配慮されている。家庭分野においては、本文と資料が精選され、主体的。対話的で深い学びや、実践的・体験的な活動を通して、知識や技能が適切に身に付けられるよう配慮されている。

開隆堂では、技術・家庭共通して、学習のまとめりごとに「振り返り」「生活を生かそう」の欄が設けてあり、学習の自己評価ができるとともに、身に付いた知識や技能などを生活に生かすことのできる仕組みになっている。特に、技術分野では、ガイダンスを通して技術の見方・考え方を取り上げ、各内容でそれを取り上げる工夫をしている。さらに、各題材とも、実験などを通して科学的な視点を育てる配慮がされている。家庭分野においては、学習で習得した知識及び技能などを実生活で活用するために、「生活の課題と実践」として多種多様な課題が豊富に設定され、実践的な活動が家庭や地域などで行えるよう工夫されている。

会 長 他の質問はないか。（なし）

※小委員長退席

会 長 引き続き、技術・家庭の採択の審議に入る。

- ・ガイダンスについて技術分野を3者比較すると、教育図書では、A B C Dの4内容の目次と「教科書の使い方」「安全に進めるために」「作業しやすい環境づくり」などを9ページに渡って説明している。

- ・東京書籍については、構成が分かりやすく、2ページに渡って学習の流れを説明している。作業を安全に進めるための見出しと説明が分かりやすく、工夫・創造が技術を支えることや、夢をかえる、学習の進め方などについて、15ページに渡って説明している。
- ・開隆堂については、同様に4内容の目次があり、作業の安全について、特にコンピュータ室での情報モラル、情報の受信・発信の留意事項が書かれている。また、その流れを見やすく説明したり、企業のものづくり・技術の役割に4ページ、技術の見方・考え方に1ページ、技術と生活・発達技術に19ページを割いて説明している。また、教科書に「マメ知識」の欄が、教科書右上には道具の写真などを紹介している。
- ・これらのことを踏まえ、開隆堂と東京書籍がよいと思う。
- ・家庭分野においては、東京書籍では、4つの柱を立てており、特に「家族と家庭生活」を最後に配置している。
- ・指導計画の作成と内容の取扱いでは、小学校の家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるための記載が第1学年の最初にある開隆堂と教育図書が望ましいと思う。
- ・技術・家庭全体で見ると、開隆堂が望ましい。また、基礎的な理解と技能の習得に関わって、とりわけ鋸やカンナ、金槌の扱いは必須であるため、各者比較すると、開隆堂はカンナの名称や木の削り方など、丁寧に取り上げており、説明が一番詳しい。家庭科では、調理実習に関して、献立表にアレルギー物質を記載しているのは開隆堂であった。

会 長 これまでの審議の経過を踏まえて、技術・家庭は「開隆堂」と決定することとしてよろしいか。（異議なし）

それでは、家庭については、「開隆堂」の教科用図書を採択することと決定する。

会 長 つづいて、「外国語」について、調査研究報告書に基づき調査結果を小委員長から報告願う。

小委員長 外国語小委委員長の中川である。外国語の調査研究結果について報告申し上げる。

- はじめに「東京書籍」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の「Stage Activity 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、好きな有名人について尋ね合ったり、有名人を紹介する文章を集めてクラス新聞を作成したりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2学年の「Stage Activity 1」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自分の好きなことや向いている仕事について伝え合ったり、10年後の自分へのメッセージを書いたりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動

- ・第3学年の「Stage Activity 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、紹介したい日本文化について書いたり、書いた文章を読んでコメントし合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・第3学年の「Unit1 Sports for Everyone」の単元において、現在完了形を用いたやりとりをするために、五稜郭、キツネ、スキー、札幌ラーメン
 - ・「Unit3 Animals on the Red List」の単元において、単元で学習した文法事項を統合的に活用して書く活動をするために、シマフクロウ、タンチョウ
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・各Unitの終わりに毎回Unit Activityを設定し、4技能5領域を統合した内容となっていること
- 次に「開隆堂」についてである。
 - 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の「Our Project 3」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、スピーチ原稿を書いたり、結果をグラフにまとめて発表したりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2学年の「Our Project 4」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、スピーチをしたり、スピーチに対する感想を述べ合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第3学年の「Our Project 7」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、スピーチのメモについてアドバイスし合ったり、スピーチについて質問をしたりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動
 - 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・第2学年の「Program6 Live Life in True Harmony」の単元において、受け身を用いたやりとりをするために、北海道
 - ・「Program8 A Hope for Lasting Peace」の単元において、現在完了形を用いた書く活動とやりとりをするために、札幌や札幌市時計台
 - ・また、同単元内Power-Up5において、メールでの近況報告のやりとりをするために、札幌市の雪像や味噌ラーメン
 - その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・教科書巻末には、4技能5領域別のcan-doリストが添付されており、学習者の振り返りの工夫がされていること
 - ・また、各projectにおいては4技能5領域を統合した学習課題が設定され、単元のゴール像を示す工夫がされていること

- 次に「三省堂」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、おすすめの場所とその理由を整理したり、分担して原稿を作成したりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2学年の「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、修学旅行のプランについて提案する内容を考えたり、企画書をまとめたりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第3学年の「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、国際交流イベントで地域の紹介をする発表原稿を書いたり、発表を聞く審査員になったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・付録ページ「いろいろな単語」では、カテゴリーごとに単語がまとめられており、各活動で役立てられるよう工夫されていること
- 次に「教育出版」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、アンケート調査を行ったり、結果をグラフにまとめて発表したりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2学年の「Project 1」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、スピーチ原稿を書いたり、スピーチを聞いて感想を言ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第3学年の「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、スピーチ原稿を書いたり、スピーチを聞いて感想を言ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・第1学年の「Lesson8 Holiday in Hokkaido」において、予定について伝えたり、たずねたりする活動で旭山動物園
 - ・第3学年の「Sports Legends」において、関係代名詞を用いて、ものについて詳しく伝える活動で上川出身の「高梨沙羅」
 - ・このほか、第1学年で「札幌ラーメン」、第2学年で「ジュエリーアイス」「ハルニレの木」、第3学年で「釧路湿原」

- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・第1学年Lesson2までは小学校における学習内容との関連が強い内容となっており、小中連携を意識した親しみやすい構成となっていること
 - ・即興的なやりとり（巻末に即興のチャットの例の掲載・各Partの右下に最後のセリフを考えて言うコーナー）が行えるようになっていること
 - ・第3学年の終盤において、中高連携を意識した構成がされていること
- 次に「光村図書」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の「You Can Do It! 3」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、ウェブサイトの学校紹介の内容について考え、発表したり、コメントし合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2学年の「You Can Do It! 1」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、条件に合った観光プランを考えたり、観光プランを発表したりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第3学年の「You Can Do It! 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、学校に必要なものについての意見を読んだり、自分の意見を伝え合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・第2学年の聞き取る活動として、観光地の音声案内や旅行の行き先で北海道
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・特長として、各単元はじめに見通しをもたせる活動が位置付けられていること
 - ・各partに4技能・5領域を使用する活動が位置付けられていること
 - ・巻末に帯教材として、Let's talkやretelling活動の資料が掲載されていること
- 次に「啓林館」についてである。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・第1学年の「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、友達や先生の紹介をしたり、紹介文を友達と交換し感想を伝え合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動
 - ・第2学年の「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、憧れの職業についてスピーチをしたり、スピーチを聞いて質問し合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動

- ・第3学年の「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本の伝統行事の紹介文を書いたり、原稿を交換して読み合いアドバイスをしたりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動
- 次に、「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・札幌の天気予報や北海道の食文化に関する内容
 - ・北海道のスープカレーを取り扱ったり、クリオネの生態について読む活動を位置付けたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされていること
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・段階を追って、無理なく学習できる構成及び生徒の発達段階に応じた学習内容が提供されていること

会 長 これから質疑応答を行う。外国語の調査研究報告について質問等はないか。

Q：授業の組み立て方について特徴的な点について説明願う。

A：東京書籍については、教科書どおりに指導を行うことで学習活動が網羅される構成になっている。教師が補助プリント等を作成することなく進められるような構成になっている。

教育出版では、これまでの教科書とほぼ同じ構成のため、教師の意図に応じた学習プリントの作成や学習展開を行うことができるようになっている。

開隆堂では、通常、指導の際には最初に表現を学習し、次に表現を用いた本文を見ながら知識・技能を身に付け、活動を通して判断力や理解力を育成する内容を、一つの領域の導入で内容の全体を学習し、単元において一つずつの内容を確認し、終末においてまとめの活動を行う構成になっている。

Q：小学校との内容の接続を踏まえ、特徴的な工夫について説明願う。

A：東京書籍では、Unit 0～5の夏休み前までの範囲を小中の接続期とし、振り返りを含めた学習を行うことができるよう構成されている。

教育出版の場合は、Lesson 1～3まで小学校で習ったコミュニケーション方法を取り入れ、小学校での学習内容を踏まえ、聞く・話す活動から中学校の学習内容に移行するよう構成されている。

開隆堂では、新出の表現については、小学校と同様のプロセスで指導を行い、漫画を取り入れ、視覚的に内容を捉えることができる構成になっている。

啓林館では、小中高校の英語の教科書を手掛けていることから、小中高への接続に対する配慮がなされている。

光村図書では、接続期に行われる7つの活動について、小学校の復習をし、Unit 3までを準備期間とし、子どもたちの負担軽減が図られるよう構成されている。

三省堂では、Starterによる導入を行い、聞く、話すの活動を行いながら、小学校での学びを振り返り、中学校の学習内容につなぐよう構成されている。

Q：学習指導要領では外国語の目標と英語の目標が示されている。外国語の目標では3つの資質・能力、英語の目標では5つの観点から外国語の目標に向かうよう示されているが、二重構造になっていることについて説明願う。

A：外国語科は、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら目標を達成する。英語は、外国語を踏まえ、読むこと、聞くこと、書くこと、話すこと及び、発表の活動を通して身に付けることになる。このことを踏まえ、最初に文法、音声、単語などの知識・技能を身に付けたあと、聞く、話すなどの活動や総合的な活動、読み物教材で子どもたちの興味のある内容を取り扱うなど、学びに向かう力を育成できるよう、各者とも目標に応じた構成になっている。

Q：開隆堂が3つの視点で目標を設定していることについて説明願う。

A：外国語に求められる、即興性を身に付けさせるために、大まかな内容を理解するという部分に特化していることである考える。

Q：外国語の目標に関わり、外国語の背景にある文化に対して理解を深めることがあるが、各者の取扱いについて説明願う。

A：文化に対する理解については、各者とも英語圏にこだわらず取り上げている。また、2015年に採択された17の目標であるSDGsを意識し、ジェンダーの平等、貧困をなくそう、環境問題等を踏まえて広く捉えている。

会 長 他の質問はないか。（なし）

※小委員長退席

会 長 引き続き、外国語の採択の審議に入る。

- ・「Use Form Let's Write」という名前で学習の目標を分かりやすく示し、他生徒とのペアやグループがあり、聞く学習活動が多く掲載されていることから、東京書籍が優れていると考える。
- ・小中の接続については、東京書籍が丁寧である。また、グラマーのページでは、文構造に加えて視覚的に示しており、A4版で見やすい。教育出版では、まとめが充実しており、学習内容の定着に配慮されている。東京書籍は、丁寧なつくりで先生方が教えやすく、子どもたちも学びやすいのではないかと感じた。
- ・東京書籍と開隆堂は、使える英語を意識していると感じた。開隆堂は、話すことを意識した構成となっている。東京書籍は概要をつかんで深め、表現する流れであり、時間をかけて学ぶことができるようになっている。読み、丁寧さを考慮すると、小中の接続の中でも、東京書籍はリスニングから発音、簡単な文法につなげている。また、使える英語として考えたときに2者を比較すると、東京書籍はバリエーションが豊富であると感じた。
- ・東京書籍がよいと思う。丁寧な文法の解説があり、つまずきにも配慮されており、先生が指導しやすい。小学校からの接続では、夏休み前くらいまで時間をかけて丁寧に教えていくように工夫されている。A4版で見やすいという点もよいと思う。

会 長 これまでの審議の経過を踏まえて、外国語は「東京書籍」と決定することとしてよろしいか。（異議なし）

それでは、外国語については、「東京書籍」の教科用図書を採択することと決定する。

会 長 つづいて、道徳について、調査研究報告書に基づき調査結果を小委員長から報告願う。

小委員長 道徳小委員長の大場である。道徳の調査研究結果について報告申し上げる。

- はじめに「東京書籍」についてである。
- 「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・第1学年の『『どうせ無理』という言葉に負けない』の教材に、赤平市「植松電機」植松努さん
「郷土のことを考える」の資料に、アイヌ古式舞踊
 - ・第2学年の「我、ここに生きる」の教材において、霧多布
 - ・第3学年の「背番号15が歩んだ道－黒田博樹」の教材において、北海道日本ハムファイターズ
「受けつがれる思い」の教材において、北海道
「高く遠い夢」の教材において、藻岩山
「足袋の季節」の教材において、小樽市
「将来の姿をイメージしよう」の資料において、北海道
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・「いじめ問題」と「生命尊重」を重点内容と押さえ、それぞれの内容について3つの教材を一まとめとしたユニットを構成し、多面的・多角的に考えられるよう工夫されていること
 - ・小学校道徳の教材「橋の上のおおかみ」を資料として掲載し、小学校との連携を図り発達段階を考慮しながら系統的に学ぶための工夫がなされている。
 - ・教材ごとに、話合いの材料として活用できる「つぶやき」欄が配置されている。また、巻末に学期ごと切り取れる自己評価用紙が用意され、道徳の学びが記録できるよう工夫されていること
 - ・巻末資料に、効果的な話し合いに活用できる「ホワイトボード用紙」や、葛藤教材で自分の気持ちを視覚化できる「心情円」が用意されていること
- 次に、「教育出版」についてである。
- 「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・第1学年の『『どうせ無理』をなくしたい』の教材に、赤平市「植松電機」植松努
「都道府県にゆかりのある人物とその言葉」の資料に、千代の富士貢
 - ・第2学年の「釧路湿原を守れ」の教材に、釧路湿原
「地下鉄で」の教材に、札幌市
「モノづくりのまち、東大阪の会社見学」の教材に、北海道
「都道府県にゆかりのある人物とその言葉」の資料に、三浦綾子
 - ・第3学年の「足袋の季節」の教材に、小樽市
「もう一つの時間」の教材に、ヒグマ
 - ・「世界に誇る『BONSAI』」の教材に、国後島

- ・「カムイモシリとアイヌモシリ」の教材に、松浦武四郎
- ・「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」の資料に、松浦武四郎
- 次に 「光村図書」についてである。
- 「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・第1学年の「『ソーセージ』の悲しい最後」の教材に、知床
「日本のお米」の教材に、北海道
「撮られなかった一枚の写真」の教材に、室蘭市出身吉田ルイ子
 - ・第2学年の「アイヌの歌を歌いたい」の教材に、アイヌ文化
「日本各地の世界遺産」の資料に、知床
 - ・第3学年の「あの日 生まれた命」の教材に、旭川大学大学院
「足袋の季節」の教材に、小樽市
「持続可能な開発目標（SDGs）について知ろう」の教材に、下川町
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・「いじめ問題」と「情報モラル」を重点内容と押さえ、全学年ともその内容を扱う教材の後に補充教材「深めたいむ」が配置されている。これにより前の教材で学んだことをさらに自分に引き付けて考えられるよう工夫がなされていること
 - ・学びに向かう力を育むために、道徳を学ぶ価値を考え学びの見通しをもつための「授業開き」と、自分の学びの価値を自己評価する「学びの振り返り」を、年間35時間の教材の中に位置付けていること
 - ・1年間で3つの学期に分けると同様に、生徒の発達段階から年間を3つの「シーズン」に区切り、成長に即した学びのテーマを配置している。また、各「シーズン」には関連性の深い内容を一まとまりとしたユニットが構成され、いっそう内容項目が有機的に結びつくように工夫されていること
 - ・教材の分量を1時間で扱うのに適した量に見直すとともに、価値に迫る発問を2問で構成し発問の意図を明確にする工夫がされている。また、その発問を含む「てびき」は横組みで掲載され、教材との区切りが分かりやすいよう工夫されていること
- 次に、「日本文教出版」についてである。
- 「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・第1学年の「人のフリみて」の教材に、洞爺湖温泉
 - ・第2学年の「よみがえれ、えりもの森」の教材に、えりも町
「足袋の季節」の教材に、小樽市
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・本冊と別冊で構成され、本冊は、読み物教材が35掲載されていること
 - ・別冊は、本冊に準じた配列で本冊の学びが記録できる「道徳ノート」となっている。また、生徒の多様な表現や自由な授業展開での記録もできるように発問欄が空欄となる工夫がされていること

- ・いじめ防止のための「『いじめ』と向き合う」と、生徒が主体的によりよい社会を創造していけることを願う「よりよい社会と私たち」を重点内容と押さえていること
 - ・2つの重点内容が、異なる内容項目に属する様々な教材やコラムを組み合わせた一まとまりであるユニットを構成し、このユニットでの学びにより、より深く、多面的・多角的に考えられるように工夫されていること
 - ・問題解決的な学習と体験的な学習に適した教材に、参考例となる「学習の進め方」を配置し、授業の展開がイメージしやすい工夫がされていること
 - ・別冊の「道徳ノート」は、1時間ごとの記録による個人内評価への活用のほか、学期ごとの振り返りを保護者に知らせ、家庭との連携が図られるように工夫されていること
- 次に、「学研教育みらい」についてである。
- 「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
- ・第1学年の「あきらめなければ夢は叶う」の資料に、北海道出身ヴァイオリニスト式町水晶
「ロコ・ソラーレ メダルへの挑戦」の教材に、女子カーリング本橋麻里
 - ・第2学年の「鳥のように空を飛びたい」の教材に、スキージャンプ高梨沙羅
「星置きの滝」の教材に、札幌市星置きの滝
「足袋の季節」の教材に、小樽市
 - ・第3学年の「正確な日本地図の追求 伊能忠敬」の教材に、蝦夷地
「町工場から宇宙へ」の教材に、赤平市「植松電機」植松努
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
- ・全学年を通じて、「命の教育」を重点とし、「生命尊重」と「いじめ防止」について、5～7つの教材を配置していること
 - ・現代的な課題である「SDGs（持続可能な開発目標）」と「キャリア教育」の2つの内容については、視点や内容の異なる複数の教材を関連させ、一まとまりとしてのユニットを構成し、多面的・多角的に考える授業ができるよう工夫されていること
 - ・主体的に考え、考えを深めるため、巻頭に「考えを深める四つのステップ」を示すとともに、特設ページ「深めよう」で、ステップ活用の具体例が提示されていること
 - ・特設ページ「クローズアップ」や「クローズアッププラス」には、教材と同じ内容項目の関連情報を掲載し、多様な学びの展開に向けた工夫がなされていること
 - ・各教材に思いや気づきを自由に記述できるメモ欄を設けるほか、生徒が自らの成長に気付けるよう巻頭に「マイプロフィール」、巻末に学期ごとで切り取れる「学びの記録」が配置されていること
- 次に、「廣濟堂あかつき」についてである。
- 「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。

- ・第1学年の「地下鉄」の教材に、小樽市別冊「糸」の資料に、歌手中島みゆき
- ・第2学年の「野生の猛禽を守るために」の教材に、北海道湿原原野生物保護センター
「迷惑とは何ぞ」の教材に、三浦綾子
「足袋の季節」の教材に、小樽市
- ・第3学年の「原稿用紙」の教材に、札幌市
「襟裳のこと」の教材に、えりも町
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・本冊と別冊から構成され、本冊には35時間分の教材が掲載されていること
 - ・別冊「道徳ノート」は、全ての内容項目ごとの資料教材と35時間分の学習の記録記入欄が掲載されており、指導と評価の一体化に応えられるよう工夫されていること
 - ・全学年の巻末に現代的な問題の中でも特に、「いじめ防止」「情報モラル」「持続可能な社会」について考える補充資料による特集ページを配置し、学びを広げ、深められるように工夫されていること
 - ・読み継がれてきた名作などの感動教材や実話に基づく人物教材、いじめ問題などの教材に重点を置き、これからの生き方を考え・議論できるよう多くの教材と資料を配置していること
 - ・多面的・多角的に考え、話し合い、問題解決的な学習を促す教材や道徳的行為に関する体験的な学習を促す教材を数多く配置し、多様な指導方法が取り入れられるよう工夫されていること
- 次に、「日本教科書」についてである。
- 「その他」についてである。北海道・上川管内の特色に応じた内容については、次のような内容が取り上げられている。
 - ・第2学年の「もっと知りたい われ太平洋の橋とならん」の教材に、新渡戸稲造
「コンスタンチン君 命のリレー」の教材に、北海道
「足袋の季節」の教材に、小樽市

会 長 これから質疑応答を行う。道徳の調査研究報告について質問等はないか。

Q：1点目に、別冊について、どのように取り扱おうとよいのか教えていただきたい
2点目に、日常生活との結び付きについて、各者の中で特徴的な工夫があれば教えていただきたい。

A：1点目について、別冊の扱いは者によって違いが見られるが、「道徳ノート」とセットにしたり、「道徳ノート」に学習の記録を読み物ごとに記録できるようにしている。学校の重点目標に応じて、柔軟に取り扱うことが大切であると考える。

2点目について、本質的な課題や子どもたちの現在の観点において、体験的な学習を行うような学習活動を取り扱っており、いじめについて考えるという日常活動の問題や、ゴミ問題から環境問題、SNSなどの情動的な取扱いから身近な問題を取り上げている。

会 長 他の質問はないか。(なし)

※小委員長退席

会 長 引き続き、道徳の採択の審議に入る。

- ・光村図書と日本文教出版の2者に絞っていたが、光村図書は「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」など、課題をどのように日常生活に生かすかということが分かりやすく進められる内容になっている。
- ・日本文教出版は、中学生の年代が自分のこととしてとらえやすい題材が多い。光村図書でも同様に、自分のこととして考えやすい題材が多く、学習しやすい。また、多文化共生の視点や多面的・多角的な考えが丁寧に入っている。さらに、人との関係性についても丁寧に入っていた。第3学年の教材では、上川から始まった「君の椅子」が取り上げられており、本州の自治体も参加するようになってきていることから、子どもたちがより身近に感じやすく、光村図書がよいと考える。
- ・光村図書は、各学年で多面的・多角的な見方や考え方による話し合いを配置しており、生徒が多様な気持ちや考え方に最も接することができる教科書であると感じた。また、読み物教材の文章が他の出版社よりも端的で分かりやすいため、子どもたちが考え話し合う時間を多く取ることができる。

会 長 これまでの審議の経過を踏まえて、道徳は「光村図書」と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、道徳については、「光村図書」の教科用図書を採択することと決定する。

会 長 つづいて、特別支援の報告に移るが、特別支援については道で採択された新規の図書10冊について調査研究結果を聞いていただき、問題がなければ一括で採択をさせていただきたいがよろしいか。(異議なし)

それでは、つづいて、特別支援について、調査研究報告書に基づき調査結果を小委員長から報告願う。

小委員長 特別支援小委委員長の小嶋である。特別支援の調査研究結果について報告申し上げる。

- はじめに偕成社の国語「げんきにごあいさつ」についてである。
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・体裁は24.5×20.5cmで、ページ数は24ページ
 - ・表紙はビニール装丁
 - ・平成元年(1989年)発行
- 次に、教育画劇の技術・家庭「つくってたべよう!お料理マジック2」についてである。
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・体裁は19.5×21.2cmで、ページ数は64ページ
 - ・表紙はビニール装丁
 - ・平成18年(2006年)発行

- 次に、くもん出版の外国語「CD付き英語カード あいさつと話しことば編」についてである。
 - その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・体裁は12.3×15.2cmのカード46枚
 - ・厚紙の箱に収納
 - ・平成12年（2000年）発行
- 次に、合同出版の保健体育「運動が得意になる 43の基本レッスン イラスト版体育のコツ」についてである。
 - その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・体裁は25.7×18.3cmで、ページ数は112ページ
 - ・紙は上質で、文字が見やすい
 - ・平成18年（2006年）発行
- 次に、コクヨ株式会社の美術「かおノート」についてである。
 - その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・体裁は18.2×18.6cmで、ページ数は48ページ
 - ・表紙は厚紙で、堅ろう
 - ・平成20年（2008年）発行
- 次に、三省堂の社会「こどもきせつのぎょうじ絵じてん」についてである。
 - 「その他」に関わり、北海道・上川管内の特色に応じた内容として、次のような内容が取り上げられている。
 - ・「12がつ ふゆやすみ」に、北海道では冬休みが長く、夏休みが短いの記事
 - その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・体裁は21.8×18.0cmで、ページ数は192ページ
 - ・紙は上質で、文字が見やすい
 - ・平成20年（1998年）発行
- 次に、ドレミ楽譜出版社の音楽「やさしい こどものうたとあそび」についてである。
 - その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・体裁は26.7×18.2cmで、ページ数は192ページ
 - ・表紙はビニール装丁
 - ・平成27年（2015年）発行
- 次に、フレーベル館の国語「たいせつなこと」についてである。
 - その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・体裁は26.0×19.0cmで、ページ数は24ページ
 - ・表紙はビニール装丁で厚紙、堅ろう
 - ・平成13年（2001年）発行
- 次に、福音館の数学「ブルーナの絵本 まる、しかく、さんかく」についてである。
 - その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・体裁は16.4×16.4cmで、ページ数は28ページ

- ・表紙は堅ろうで、ビニール装丁、紙質もよく丈夫
- ・昭和59年（1984年）発行
- 次に、フレーベル館の理科「フレーベル館の図鑑ナチュラ ふしぎをためす 図鑑（1）かがくあそび」についてである。
- その他の特徴的な内容として、次の点が挙げられる。
 - ・体裁は29.0×22.4cmで、ページ数は128ページ
 - ・表紙はビニール装丁
 - ・平成24年（2012年）発行

会 長 これから質疑応答を行う。特別支援の調査研究報告について質問等はないか。
（なし）

※小委員長退席

会 長 引き続き、特別支援の採択の審議に入る。

会 長 先に説明したように、特別支援については、新規図書10冊を一括して採用するというのでよろしいか。（異議なし）

それでは、特別支援については、全ての一般図書を採択することと決定する。

会 長 それでは、理科の採択の再協議に入る。

- ・「事前準備・段取り・後始末・整理」の流れが明確に示される教科書構成が必要であると考える。

このことを踏まえると、教育出版がまとまっている。また、教育出版は疑問をもち、考え、仮説を立てて実験し、考察する展開となっており、話し合いが行いにくい少人数の学校にも適している。さらに、上川管内の題材が多く、身近に感じることができる。

- ・教育出版がよいと思う。安全確保の注意事項を実験手順の下に掲載しており、子どもが教科書を上から下に読むことで、手順とともにどのような点に注意して実験を行わなければならないか自然に理解できる。
- ・東京書籍は生物の歴史についてイラストや、発見科学者のエピソードの説明など分かりやすく構成されている。
- ・北海道に関わりのある内容については、教育出版の方が掲載数が多いが、東京書籍は「中谷宇吉郎」さんのことが取り上げられており、子どもたちが身近に感じやすく、探求しやすい工夫が随所に入れられていることから、東京書籍を推薦したい。

会 長 これまでの審議の経過を踏まえて、理科は教育出版と決定することとしてよろしいか。（異議なし）

それでは、理科については、教育出版の教科用図書を採択することと決定する。

会 長 以上で、令和2年度から使用する第6地区教科用図書の採択を終了する。